

平成 28 年度

[地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づく]

池田町教育委員会の権限に属する  
事務の管理及び執行状況についての  
点検及び評価の報告書

平成 29 年 8 月

池田町教育委員会

## はじめに

教育委員会は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、毎年、その権限の属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価・公表を行うことが定められています。

この規定に基づき池田町教育委員会では、点検及び評価等の実施に関する基本的事項を内容とする実施方針を定め、平成19年度から教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価等を実施しており、今回の報告対象とする事業等は、平成28年度に教育委員会が実施した施策、事務及び事業等となります。

点検及び評価につきましては、教育委員会の活動状況に加え、教育委員会が執行している事務事業のうち「池田町第4次総合計画」の「基本目標4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり」の政策ごとに定める施策に沿った事業内容の進捗状況について実施するとともに、議会等に公表し、今後の総合計画の推進に生かしていきます。

すべての池田の子どもたちに確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育てることができる教育環境や、町民一人ひとりが生涯にわたって自ら学習し、社会の変化に対応できるよう自分自身を高めていくことができる環境づくりのため、生涯にわたって行う学習活動の推進や、子どもから高齢者まで一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り拓いていくことが可能な『学びの場づくり』に努めています。

池田町教育委員会では、点検・評価・公表の実施を通じて住民の皆様への説明責任を果たすことに加えて、施策の効果の検証と改善を絶えず図っていくことにより、教育施策の着実な推進に努めてまいりたいと考えております。

今後とも一層のご理解とご協力を願いいたします。

平成29年8月

池田町教育委員会

# 目 次

第1章 教育委員会の活動状況	ページ
1 教育委員会の会議等の開催状況	1
2 条例、規則等の制定、計画等の策定等の状況	3
1) 教育関係条例	
2) 教育委員会規則	
3) 規定、要綱等	
4) 計画等の策定状況	
3 教育委員会委員の主な活動状況	3
4 教育関係者の表彰等	5
5 付属機関等の活動状況	6
第2章 池田町第4次総合計画の後期基本計画に基づく評価 ～基本目標4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり～	
政策1 未来に向けた人づくり	
施策1 学校教育の充実 … 未来を担う子どもたちを育み、新しい時代・社会に貢献できる教育体制の構築を目指します。	
4.1.1.1 教育委員会の設置及び運営	9
4.1.1.1 教育委員会事務局の運営	9
4.1.1.1 確かな学力を育む教育の充実	10
4.1.1.1 心身の健やかな成長を促す教育の取組	11
4.1.1.1 教育支援委員会の開催により教育上特別な配慮を要する児童生徒への教育支援	11
4.1.1.1 支援教育の推進	11
4.1.1.1 教職員の健康診断等の実施、福利厚生事業への支援、教職員の共同研究・共同研修への支援	11
4.1.1.1 道徳教育の推進	11
4.1.1.1 中学校の部活動に対する支援	12
4.1.1.1 学校運営へ意見、助言等を行う評議員の設置	12
4.1.1.1 心の教育相談員の設置による生徒の悩み事相談の実施	12
4.1.1.1 各小中学校へのパソコン配置	13
4.1.1.1 小学校施設の維持管理、図書の整備、スケートリンクの整備等	13
4.1.1.1 中学校施設の維持管理、図書の整備等	13
4.1.1.2 英語指導助手による授業運営の補助、国際理解教育の実施	14
4.1.1.3 スクールバス更新	15
4.1.1.3 教員住宅の維持管理及び修繕	15
4.1.1.4 教育関係機関や家庭などの情報の共有	16

4114	危機管理マニュアルの作成	16
4115	学校給食の調理及び配送等、バイキング給食等の実施	17
4115	学校給食センター施設の維持管理	17
4116	幼児教育振興のため私立幼稚園就園児世帯に対する助成の実施	18
4116	幼稚園・保育所・小学校の連携の推進	18

**施策2 社会教育の推進** … 学校、家庭、地域を通じて、各世代の課題やニーズに応じた学習機会の提供を進めます。また、地域全体で子どもたちを守り育てる体制を推進します。

4121	放課後子ども教室の実施	19
4121	通学合宿の開設	19
4121	成人式の実施	19
4122	図書館の運営、蔵書管理、施設維持管理	20
4122	子どもの読書活動の推進に関する事業の実施	20
4122	図書館の利用促進等に関する事業の実施	21

**施策3 生涯学習の推進** … 住民が生涯を通じて学習機会を選択し、自由に学ぶことができる環境の整備とそれを支援する体制の構築を図ります。

4131	シニアカレッジ遊ゆう大学の開設	22
4131	コミュニティスクールの開設	22

**施策4 青少年の健全育成** … 地域社会において次世代を担うたくましい青少年を育む体制づくりを進めます。

4141	学校支援および教育の日に関する事業の実施	23
4141	父母と教職員のネットワーク形成に対する助成	23
4141	各種協議会等の会議の開催等	23
4142	地域子ども会育成連絡協議会の活動支援	24
4142	リーダー研修への参加支援	24
4142	わんぱく体験塾の開設	25
4142	小学生道外派遣研修事業の実施	25

## 政策2 地域文化・スポーツ交流の推進

**施策1 地域文化の振興** … 多彩な芸術文化活動による、生きがいのある地域づくりを進めるとともに、地域文化の伝承や発展を推進します。

4211	児童生徒の芸術鑑賞会・子ども夢基金事業の開催	26
4211	芸術文化公演等事業の実施	26
4211	文化活動者の表彰等	27
4211	ふれあい文化講座等の開催	27
4211	田園ホールの維持管理	27
4212	文化協会の各種活動への支援	28
4212	女性団体の育成及び活動支援	28

4213 文化財保護審議会の開催・町指定文化財の指定、保存活用	29
4213 郷土資料の整理保存・郷土資料館の整備	29

**施策2 スポーツ活動の充実 … だれもが気軽にスポーツを楽しめる環境づくり  
により、生涯スポーツの振興を図ります。**

4221 各種スポーツ大会における成績優秀者に対する表彰	30
4221 各種大会・教室等の開催を通じてのスポーツを楽しむ機会の提供	30
4221 体育協会、少年団活動等への支援	30
4222 清見ヶ丘・北部地域スケートリンクの造成と維持管理	31
4222 カーリング場の維持管理	31
4222 サッカー・ソフトボール場等の屋外体育施設整備	32
4222 高島町民プールの整備、維持管理	32
4222 池田小学校プール等学校施設の一般開放実施	32
4222 総合体育館の整備、維持管理	32

※ 資料編

○ 学校教育	33
○ 学校給食	39
○ 社会教育・文化振興	41
○ 図書館	44
○ 社会体育	46

※ 関連規定等

○ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	47
○ 池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検、評価及び 公表に関する実施方針	48
○ 池田町教育委員会会議規則	49

※ 点検及び評価において検討すべき課題

※ 外部意見（元教育委員等教育関係者からの意見）

# 第1章

## 教育委員会の活動状況

## 1 教育委員会の会議等の開催状況

池田町教育委員会の会議は、池田町教育委員会会議規則に基づき、月に1回開催している。

この会議においては、教育長と4名の教育委員が学校その他の教育機関の設置、管理等に関すること、教育委員会及び学校の職員の任免に関することなど、教育委員会が所管する教育に関する様々な議題について審議している。

平成28年度は、臨時に開催した2回を含め、次のとおり14回の会議を開催した。

1) 平成28年第3回臨時会議 [平成28年4月1日(金) 教育委員会会議室]

- ・指定第1号 池田町教育委員会教育長の職務代理者の指定について

2) 平成28年第4回定例会議 [平成28年4月18日(月) 教育委員会会議室]

- ・報告第6号 平成28年度就学援助世帯の認定について
- ・報告第7号 学校職員採用に係る内申について
- ・報告第8号 学校職員兼職に係る内申について
- ・報告第9号 池田町教育研究所所員等の委嘱の件
- ・議案第17号 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱の件
- ・議案第18号 池田町学校評議員の委嘱の件
- ・議案第19号 池田町社会教育委員の委嘱の件
- ・議案第20号 池田町文化賞及びスポーツ賞審議会委員の委嘱の件
- ・議案第21号 池田町スポーツ推進委員の委嘱の件
- ・議案第22号 池田町学校給食運営委員会委員の委嘱の件

3) 平成28年第5回定例会議 [平成28年5月17日(火) 池田中学校会議室]

- ・報告第10号 平成28年度就学援助世帯の認定について
- ・協議第4号 池田町議会へ提案する教育委員会関連予算案について  
(池田町一般会計補正予算)
- ・議案第23号 池田町教育支援委員会委員の委嘱の件
- ・議案第24号 池田町社会教育委員の委嘱の件
- ・議案第25号 池田町学校給食運営委員会委員の委嘱の件

4) 平成28年第6回定例会議 [平成28年6月20日(月) 教育委員会会議室]

- ・報告第11号 池田町議会へ提案した教育委員会関連予算案について  
(池田町一般会計補正予算)

5) 平成28年第7回定例会議 [平成28年7月11日(月) 教育委員会会議室]

- ・議案第26号 池田町学校給食運営委員会委員の委嘱の件

6) 平成28年第8回定例会議 [平成28年8月24日(水) 教育委員会会議室]

- ・議案第27号 平成29年度に使用する池田町立小中学校教科用図書の採択について
- ・議案第28号 平成27年度池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価の報告書について

7) 平成28年第9回定例会議 [平成28年9月21日(水) 教育委員会会議室]

- ・報告第12号 池田町議会へ提案した教育委員会関連予算案について  
(池田町一般会計補正予算)
- ・協議第5号 池田町議会へ提案する教育委員会関連予算案について  
(池田町一般会計補正予算)
- ・議案第29号 補助教職員臨時的任用に係る内申について
- ・議案第30号 教育財産の用途変更について
- ・指定第2号 池田町教育委員会教育長の職務代理者の指定について

8) 平成28年第10回定例会議 [平成28年10月14日(金) 教育委員会会議室]

9) 平成28年第4回臨時会議 [平成28年10月26日(水) 教育委員会会議室]

- ・議案第31号 池田町教育委員会事務局職員の懲戒処分について
- ・議案第32号 池田町教育委員会教育長の辞職同意について

10) 平成28年第11回定例会議 [平成28年11月28日(月) 教育委員会会議室]

- ・指定第3号 池田町教育委員会教育長の職務代理者の指定について
- ・協議第6号 池田町議会へ提案する教育委員会関連予算案について  
(池田町一般会計補正予算)
- ・協議第7号 池田町議会へ提案する教育委員会関連議案について  
(池田町郷土資料館条例)

11) 平成28年第12回定例会議 [平成28年12月14日(水) 教育委員会会議室]

- ・議案第33号 池田町教育委員会事務局職員の懲戒処分について

12) 平成29年第1回定例会議 [平成29年1月16日(月) 教育委員会会議室]

- ・報告第1号 池田町立小中学校通学区域外就学の承諾について
- ・議案第1号 補助教職員臨時的任用に係る内申について
- ・議案第2号 池田町立学校管理規則の一部を改正する規則

13) 平成29年第2回定例会議 [平成29年2月14日(火) 教育委員会会議室]

- ・報告第2号 平成29年度学級編制について
- ・協議第1号 池田町議会へ提案する教育委員会関連予算案について  
(池田町一般会計補正予算)
- ・協議第2号 池田町議会へ提案する教育委員会関連予算案について  
(池田町一般会計予算)
- ・議案第3号 平成29年度池田町教育行政執行方針について

14) 平成29年第3回定例会議 [平成29年3月17日(金) 田園ホールフリールーム]

- ・報告第3号 平成28年度池田町文化賞・スポーツ賞等の被表彰者について
- ・報告第4号 学校職員採用に係る内申について

- ・報告第 5 号 補助教職員臨時の任用に係る内申について
- ・報告第 6 号 平成29年度学級編制について
- ・議案第 4 号 池田町郷土資料館条例施行規則
- ・議案第 5 号 教育機関の職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則
- ・議案第 6 号 池田町立小中学校教職員人事について

## 2 条例、規則等の制定、計画等の策定等の状況

### 1) 教育関係条例

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、教育に関する条例の制定に関して、意見の申し出を行い条例が町議会で可決されたもの

#### ① 池田町郷土資料館条例

～公の施設の設置及びその管理に関する事項の定め [平成29年5月1日施行]

### 2) 教育委員会規則

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第15条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務に関して、次のとおり規則を制定した。

#### ① 池田町立学校管理規則の一部を改正する規則

～休暇内容の改正 [平成29年1月16日施行]

#### ② 池田町郷土資料館条例施行規則

～条例制定に伴う制定 [平成29年5月1日施行]

#### ③ 教育機関の職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則

～池田町郷土資料館館長及び技師の配置 [平成29年5月1日施行]

### 3) 規程等

なし

### 4) 計画等の策定状況

なし

## 3 教育委員会委員の主な状況

教育委員会議は、毎月開催しており、町立学校の各種行事等に委員が出席している。

以下教育長を除く委員の活動状況（教育委員会議への出席を除く。）を記載する。

- 4月 1日（金）辞令交付 杉山委員
- 4月 3日（日）学校給食センター落成式 佐藤委員ほか2名
- 4月 4日（月）教職員辞令伝達式 佐藤委員ほか3名
- 4月 8日（金）池田小学校入学式 鈴木委員
- 4月 8日（金）高島小学校入学式 佐藤委員
- 4月 8日（金）利別小学校入学式 塩谷委員
- 4月 8日（金）池田中学校入学式 杉山委員
- 4月11日（月）春の新入学児童交通安全キャンペーン 佐藤委員
- 4月15日（金）高島小学校参観日 佐藤委員、鈴木委員

- 4月16日（土）池田小学校参観日 鈴木委員
- 4月17日（日）池田中学校参観日 佐藤委員、鈴木委員
- 5月10日（火）十勝管内教育委員会連絡協議会 佐藤委員
- 5月12日（木）池田町遊ゆう大学入学式 塩谷委員ほか2名
- 5月16日（月）利別小学校学校訪問 佐藤委員ほか3名
- 5月16日（月）高島小学校学校訪問 佐藤委員ほか3名
- 5月17日（火）池田小学校学校訪問 佐藤委員ほか3名
- 5月17日（火）池田中学校学校訪問 佐藤委員ほか3名
- 5月28日（土）池田中学校体育祭 杉山委員
- 6月 5日（日）池田小学校運動会 塩谷委員
- 6月 5日（日）高島小学校運動会 佐藤委員
- 6月 5日（日）利別小学校運動会 鈴木委員
- 6月28日（火）池田小学校参観日 杉山委員、鈴木委員
- 7月 1日（金）高島小学校参観日 佐藤委員
- 7月 6日（水）恵庭市立若草小学校視察 佐藤委員ほか3名
- 7月 7日（木）北海道市町村教育委員研修会 佐藤委員ほか3名
- 8月 1日（月）十勝東部方面教育振興会研修会 佐藤委員ほか3名
- 8月 7日（日）小学生道外派遣研修事後研修 佐藤委員
- 8月 9日（火）北海道学校給食研究大会 佐藤委員他2名
- 9月21日（水）池田町教育研究大会 佐藤委員ほか2名
- 10月 1日（土）池田中学校文化祭 佐藤委員
- 10月23日（日）池田小学校学習発表会 佐藤委員、鈴木委員
- 10月28日（金）高島小学校祖父母・地域参観日 佐藤委員
- 11月 5日（土）利別小学校学習発表会 鈴木委員
- 11月 5日（土）十勝教育を考える集い 佐藤委員ほか2名
- 11月11日（金）教育委員打合せ会議 佐藤委員ほか3名
- 11月11日（金）「池田町教育の日」学習成果発表会  
佐藤委員ほか3名
- 11月11日（金）「池田町教育の日」教育講演会 佐藤委員ほか3名
- 11月25日（金）十勝管内教育委員研修会 佐藤委員ほか2名
- 12月 3日（土）高島小学校土曜参観日 佐藤委員、鈴木委員
- 12月 9日（金）池田中学校地域公開授業参観日 佐藤委員
- 12月16日（金）池田町PTA連合会教育懇親会 佐藤委員ほか3名
- 12月26日（月）おにぎり成形機試運転 佐藤委員ほか3名
- 1月 8日（日）平成29年池田町成人式 佐藤委員ほか3名
- 1月27日（金）第1回池田町総合教育会議 佐藤委員ほか3名
- 2月 7日（火）高島小学校卒業記念バイキング給食 鈴木委員
- 2月14日（火）利別小学校卒業記念バイキング給食 佐藤委員
- 2月21日（火）池田小学校卒業記念バイキング給食 塩谷委員、杉山委員
- 2月28日（火）中学校卒業生を祝い励ます会 佐藤委員、塩谷委員
- 3月 3日（金）池田町遊ゆう大学卒業式 佐藤委員ほか3名

- 3月15日（水）池田中学校卒業式 鈴木委員
- 3月17日（金）池田町文化賞・スポーツ賞等表彰式 佐藤委員ほか3名
- 3月24日（金）利別小学校卒業式 塩谷委員
- 3月24日（金）高島小学校卒業式 佐藤委員

#### 4 教育関係者等の表彰

平成28年度池田町文化賞・スポーツ賞等表彰式は、次のとおり開催した。

1) 日 時 平成29年3月17日（金）

2) 場 所 池田町田園ホール

3) 被表彰者

① 池田町文化賞	1個人	1団体
② 池田町ジュニア文化賞	2個人	
③ 池田町ジュニア文化奨励賞	7個人	2団体
④ 池田町スポーツ賞	5個人	3団体
⑤ 池田町スポーツ奨励賞	12個人	2団体
⑥ 池田町ジュニアスポーツ賞	9個人	2団体
⑦ 池田町ジュニアスポーツ奨励賞	20個人	5団体

## 5 付属機関等の活動状況等

付属機関の名称	池田町教育支援委員会	池田町学校給食運営委員	池田町社会教育委員
設置根拠 (条例等)	池田町教育支援委員会条例 (平成27年条例第32号)	池田町学校給食センター条例 (昭和42年条例第7号)	池田町社会教育委員設置条例 (昭和24年条例第58号)
設置目的	障害のある児童及び生徒の適切な就学を図るため。	給食センターの適正かつ円滑な運営を図るため。	社会教育に關し教育委員会に助言する。
設置時期	平成28年4月	昭和42年4月	昭和24年
設置義務の有無	なし	なし	なし
設置義務の法律等	学校教育法施行令第18条の2 市町村教育委員会は、児童生徒のうち視覚障害者等について、第5条又は第11条第1項の通知をしようとするときは、その保護者及び教育学、医学、心理学、その他の障害のある児童生徒等の就学に関する専門的知識を有する者の意見を聞くものとする。		社会教育法第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。
委員数	15名	8名	14名
報酬	日額 3,000円	日額 3,000円	日額 3,000円
会議開催回数	4回	4回	2回
活動内容	教育上特別な配慮を要する児童及び生徒の障害の種類、程度等の判断に關し、教育委員会の諮問に応じ、調査及び審議を行う。 また特別支援学級における教育内容及び障害のある児童及び生徒の教育支援に關し、専門的見地から調査及び審議を行う。  ・第1回 6月29日 ・第2回 12月23日 ・第3回 2月 1日 ・第4回 2月21日	学校給食に關する報告及び意見  ・第1回 7月15日 ・第2回 10月18日 ・第3回 12月15日 ・第4回 1月25日	社会教育に關し、教育委員会に助言するため、次の職務を行う。 ①社会教育に關する諸計画を立案すること。 ②定時又は臨時に会議を開催、教育委員会の諮問に応じ、これに對して意見を述べること。 ③前二号の職務を行うため必要な研究調査を行う。  ・第1回 9月29日 ・第2回 3月 6日
担当係	学校教育係	学校給食係	社会教育係

付属機関の名称	池田町文化賞及びスポーツ賞審議会	池田町文化財保護審議会	池田町学校評議員
設置根拠 (条例等)	池田町文化賞及びスポーツ賞に関する条例(平成13年条例第27号)	池田町文化財保護に関する条例(平成5年条例第10号)	池田町学校評議員設置条例(平成13年条例第6号)
設置目的	文化賞及びスポーツ賞等の表彰の適正を期する。	文化財の保存及び活用について適正を期する。	学校が家庭や地域と連携し、子どもの健やかな成長を図る。
設置時期	平成13年12月	平成5年4月	平成13年4月
設置義務の有無	なし	なし	なし
設置義務の法律等		文化財保護法第190条 都道府県及び市町村の教育委員会に、条例の定めるところにより、地方文化財保護審議会を置くことができる。	学校教育法施行規則第49条 1 小学校には設置者の定めるところにより、学校評議員を置くことができる。 2 学校評議員は校長の求めに応じ学校運営に関し意見を述べることができる。 3 学校評議員は、当該小学校の職員以外の者で教育に関する理解及び識見を有するもののうちから、校長の推薦により、当該小学校の設置者が委嘱する。
委員数	7名	5名	17名
報酬	日額3,000円	日額3,000円	日額3,000円
会議開催回数	1回	0回	各小中学校年3回
活動内容	教育委員会の諮問に基づき、文化賞及びスポーツ賞等の受賞候補者として推薦された者の経歴、事績等を調査審議し、受賞の適否及びその他必要と認める事項について答申する。  ・会議 3月 1日	教育委員会の諮問に応じて申請文化財の調査をし、文化財指定の適否の意見及び保存活用等必要と認める事項について答申する。	各評議員において、主に次のことについて、学校と評議員とで意見交換を行う。 ①教育目標、教育課程、学校等運営の基本方針について ②授業、学校行事等、体験学習等の教育活動並びにこれらに対する地域の協力・支援について ③いじめや非行防止など児童生徒の健全育成と地域の連携について ④学校等施設の地域開放について
担当係	社会教育係	社会教育係	学校教育係

付属機関の名称	池田町スポーツ推進委員	池田町青少年問題協議会
設置根拠 (条例等)	池田町スポーツ推進委員に関する規則(昭和37年教育委員会規則第1号)	池田町青少年問題協議会条例 (昭和40年条例第27号)
設置目的	スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導及び助言を行う。	青少年の指導、育成、保護等
設置時期	昭和37年	昭和40年
設置義務の有無	あり	なし
設置義務の法律等	スポーツ基本法第32条 市町村の教育委員会は、社会的信望があり、スポーツに関する深い关心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。	地方青少年問題協議会法第1条 都道府県及び市町村に、附属機関として、それぞれ都道府県青少年問題協議会及び市町村青少年問題協議会を置くことができる。
委員数	10名	14名
報酬	年額 27,000円	日額 3,000円
会議開催回数	1回	1回
活動内容	①スポーツ推進事業の実施に係る連絡調整 ②スポーツの実技指導 ③スポーツ組織の育成 ④スポーツ事業への協力 ⑤スポーツ事業の実施 ⑥その他スポーツに関する指導及び助言  • 地域対抗スポーツ大会 (4回) • 子どもカーリング大会 1月29日 • 会議 3月28日 • 研修会 「スポーツ選手と栄養」 3月28日	①青少年の指導、育成、保護等総合的施策につき必要な事項の資料の収集、調査、審議 ②青少年の指導、育成、保護等総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図ること。  • 会議 2月20日
担当係	社会教育係	社会教育係

## 第2章

池田町第4次総合計画の後期基本計画  
に基づく評価

基本目標4 未来を拓くたくましい人と  
豊かな文化を育むまちづくり

## 池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 1

担当係名	学校教育係		
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4	未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1	未来に向けた人づくり
	施策の体系	1	学校教育の充実 (1) 教育内容の充実

### ○事業内容

4111	教育委員会の設置及び運営
4111	教育委員会事務局の運営

### ○評価指標

評価指数の項目	H26	H27	H28
教育委員数	5名	5名	5名
池田町立小学校	3校	3校	3校
池田町立中学校	1校	1校	1校

### ○データ

項目	H26	H27	H28
教育委員会会議開催回数（定例会）	12回	12回	12回
教育委員会会議開催回数（臨時会）	3回	2回	2回
池田町立小学校児童数	308名	277名	270名
池田町立中学校生徒数	164名	173名	172名

### ○事業の推進状況

事業	教育委員会の設置及び運営
現状と成果	池田町教育委員会会議は、池田町教育委員会会議規則に基づき月1回開催し、教育委員会が所管する教育に関する様々な課題について審議している。また、全道や管内の教育委員研修会に参加し、今日的な教育課題について研修を行っている。
今後の課題	多様化する教育課題に対して教育委員会の活性化を図るため、様々な教育委員研修の実施などが必要である。
今後の対応	教育課程編成やいじめの問題、学力向上対策など教育課題等に対応するため、多方面からの情報収集や研修等により、教育委員としての資質の向上に努める。

事業	教育委員会事務局の運営
現状と成果	町立小学校は、少子化により一の学年で複数クラスの学級編制ができない状況が続いている。平成28年度は校長・教頭の他、小学校3校を教諭29名、養護教諭3名、栄養教諭1名、事務職員3名により運営し、中学校は校長・教頭の他、教諭14名、養護教諭1名、事務職員1名により運営している。児童生徒たちはのびのびと活発に学校生活を送り、各種の文化・スポーツ大会等では優秀な成績を残している。
今後の課題	子どもたちの健やかな育ちを確保するために、町内すべての学校が、家庭や地域と目標を共有した上で、地域と一体となって子どもたちを育む組織づくりが必要である。
今後の対応	学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参加し意見を反映することができる「コミュニティ・スクール」の導入を図る。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 2

担当係名	学校教育係	
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (1) 教育内容の充実

○事業内容

4111	確かな学力を育む教育の充実
4111	心身の健やかな成長を促す教育の取組
4111	教育支援委員会の開催による教育上特別な配慮を要する児童生徒への教育支援
4111	支援教育の推進
4111	教職員の健康診断等の実施、福利厚生事業への支援、教職員の共同研究・共同研修への支援
4111	道徳教育の推進

○評価指標

評価指標の項目	H26	H27	H28
学習支援員配置数(臨時教員配置数)	3名(1名)	4名(1名)	2名(4名)
教育支援委員会委員数	15名	15名	15名
特別支援教育支援員配置数	2名	2名	1名
教職員健康診断等受診対象者数	56名	54名	60名

○データ

項目	H26	H27	H28
学習支援員出勤日数	603日	857日	426日
教育支援委員会開催回数	2回	4回	4回
特別支援教育支援員出勤日数	424日	399日	215日
教職員健康診断受診者数	42名	43名	46名
教職員人間ドック受診者数	14名	11名	14名
教職員研修、研修支援団体数	8組織	6組織	6組織

○事業の推進状況

事業	確かな学力を育む教育の充実
現状と成果	習熟度別指導や少人数指導により学習内容の定着を図るため、指導方法工夫改善や生徒指導充実に向けた加配・退職教員の人材活用事業による教諭配置に加え、町費負担による学習支援員や臨時教員を配置し、子どもたちに対してきめ細かな対応を行った。 「全国学力・学習状況調査」・「学級集団状況調査(QU)」・「教研式学力検査(CRT)」・「知能テスト」を各学校で実施し、児童の学習内容定着度合や生活状況の把握を行った。
今後の課題	一人ひとりの子どもに応じた指導方法や指導体制の充実を図るために、継続して道費負担職員の配置要請と、臨時教員や学習支援員の適正な配置に向けた検討が必要である。 全国学力・学習状況調査では基礎基本の確実な習得や学習習慣の定着、自己肯定感の醸成等に課題がある。 全小中学校での各種テストの実施と、これらテストを統合し分析することにより、子どもたち個々の状態を客観的に把握する必要がある。
今後の対応	各学校の現状を把握し、協議を進めながら臨時教員と学習支援員の配置等を進めしていく。 またコミュニティ・スクールの導入を図り、学習習慣や望ましい生活習慣の定着を図る。 各種テストの取組と分析を総合分析資料(バッテリーシート)を作成し、子どもたちの生活や学習指導に活用していく。また小学校から中学校へのスムーズな接続を図る。

事業	心身の健やかな成長を促す教育の取組
現状と成果	新体力テストは全校全学年で実施している。走力や筋持久力に関する数値が低い傾向にある。
今後の課題	学校生活の中で体を動かす機会と、日常生活の中での運動習慣を見直す必要がある。
今後の対応	全種目実施に向けて各学校と調整を図るとともに、生涯にわたって積極的に身体を動かすことができるよう、体を動かすことの楽しさや運動に親しむ意欲を高める。

事業	教育支援委員会の開催による教育上特別な配慮をする児童生徒への教育支援
現状と成果	学年学級において指導・教育をすることが困難、または特別な配慮が必要な幼児・児童・生徒の支援について審議・判断を行った。
今後の課題	支援の必要性がある幼児・児童・生徒数は増加傾向にあるが、的確に把握し、一人ひとりに応じた教育が受けられるよう情報の集約や共有を進める必要がある。
今後の対応	平成28年度から就学指導委員会を教育支援委員会に変更したことに伴い、就学先の決定についての審議だけでなく、支援教育の充実に向け就学先での教育内容を把握するため、学校及び保健福祉課と連携するよう努める。

事業	支援教育の推進
現状と成果	町内小・中学校4校に支援学級(※)を12学級開設し、配慮が必要な児童生徒への支援を行った。また、支援学級に1名の町費支援員を配置し、支援教育の充実を図った。
今後の課題	小・中学校と各関係機関が連携を深め、個々の児童生徒に応じた支援を早期の段階から継続的に行う必要がある。
今後の対応	心身等の発達に支援の必要な子どもたちについて、学校間等の円滑な接続や地域における一貫した支援の充実を目的とする個別の教育支援計画「かちっと」を活用し、継続的な支援を行うとともに関係機関の連携強化を図る。また、支援員や臨時教員の配置、環境整備等体制の充実を図る。

※学級種別として「普通学級」と「特別支援学級」がありますが、池田町では「普通学級」を「学年学級」、「特別支援学級」を「支援学級」と呼称します。

事業	教職員の健康診断等の実施、福利厚生事業への支援、教職員の共同研究・共同研修への支援
現状と成果	教職員の福利厚生（健康診断等）の実施と教職員の研究及び研修を目的とする団体の支援を行った。町内の教職員を対象に独自の研修会を開催。
今後の課題	多忙感のある教職員への心のケアを図る。また教職員に対する研修会を充実させることが必要である。
今後の対応	ストレスチェック制度を導入する。研修については十勝教育局や十勝教育研修センターなど関係機関との連携及び町内の研修内容の充実を図る。

事業	道徳教育の推進
現状と成果	特別な教科となる道徳（小学校は平成30年度、中学校は平成31年度）に向けて、「私たちの道徳」など教材の効果的な活用を図った。
今後の課題	子どもの心を育てるため、学校の全教育活動を通して取り組む意図的・計画的な「道徳的な実践力」の指導が必要である。
今後の対応	学校における道徳教育の一層の充実と家庭、地域との連携・協力を図り、全町的に統一した授業づくりときめ細やかな指導を図る。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 3

担当係名	学校教育係	
施策の大綱に基づく基本計画	基本目標 政策の体系	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり 1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (1) 教育内容の充実

○事業内容

4111	中学校の部活動に対する支援
4111	学校運営へ意見、助言等を行う評議員の設置
4111	心の教育相談員の設置による生徒の悩み事相談の実施

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
部活動全道大会、全国大会出場件数	16件	13件	11件
学校評議員数	18名	18名	17名
中学校相談室開設口数	144日	144日	144日

○データ

項目	H26	H27	H28
部活動全道大会・全国大会出場生徒延数	61名	54名	58名
学校評議員会開催回数	12回	12回	12回
中学校相談室来室人数	3, 496名	2, 555名	2, 317名

○事業の推進状況

事業	中学校の部活動に対する支援
現状と成果	部活動で全道・全国大会に出場する生徒の保護者への補助と、町内で遠距離通学の生徒を送るために部活動バスの運行。十勝大会に出場する生徒に対してスクールバスで送迎している。
今後の課題	生徒数の減少により部員数も減少しており、今後の活動維持が課題である。
今後の対応	部活動を通しての人間形成は非常に効果的と考えられるため、生徒のみならず保護者へ引き続き支援を継続し、活動維持を図っていく。

事業	学校運営へ意見、助言等を行う評議員の設置
現状と成果	学校評議員設置条例に基づき、町内4小中学校に、各5名以内で学校評議員を委嘱している。校長の求めに応じて学校運営等に対し意見を述べるほか、学校が行う評価への外部評価を実施している。
今後の課題	開かれた学校づくりの推進のため、情報提供と学校評価の取り組みが必要である。
今後の対応	子どもたちの成長を支えるため、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画し意見を反映させる「学校運営協議会」を町内全校に設置を図り、その組織に評議員制度を移行することを検討する。

事業	心の教育相談員の設置による生徒の悩み事相談の実施
現状と成果	池田中学校に1名の相談員を配置し、教育相談室を設け、週3回程度開設している。気軽に来室できる環境づくりを行っており、また電話対応による24時間相談受付の体制をとっている。
今後の課題	来室する生徒は多いが、来室できない不登校生徒の対応が課題である。
今後の対応	より来室できる環境づくりを引き続き行う。また校内で組織的な対応や居場所づくりの取組を行っていく。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 4

担当係名	学校教育係	
施策の大綱に基づく基本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (1) 教育内容の充実

○事業内容

4111	各小中学校へのパソコン配置
4111	小学校施設の維持管理、図書の整備、スケートリンクの整備等
4111	中学校施設の維持管理、図書の整備等

○評価指標

評価指標の項目	H26	H27	H28
小学校児童数合計 (うち池田小学校)	308名 182名	277名 172名	270名 173名
(うち高島小学校)	25名	17名	18名
(うち利別小学校)	101名	88名	79名
中学校生徒数合計	164名	173名	172名

○データ

項目	H26	H27	H28
小学校維持管理費用 (うち池田小学校)	43,727千円 24,429千円	44,292千円 24,909千円	60,488千円 34,000千円
(うち高島小学校)	4,290千円	3,641千円	3,585千円
(うち利別小学校)	15,008千円	15,742千円	22,903千円
中学校維持管理費用	13,248千円	13,695千円	14,258千円

○事業の推進状況

事業	各小中学校へのパソコン配置
現状と成果	児童・生徒がパソコンの操作や情報収集、資料作成等の基本を身に付けることを目的にパソコン室等に児童・生徒用パソコンを配置している。校務用パソコンは教員に1人1台配置し、事務作業の効率化を図っている。
今後の課題	機器類の計画的な更新、校務用パソコンの活用及び円滑な運用。
今後の対応	授業における実物投影機の使用等ICTを活用した教育を推進する。また、教員の事務負担軽減に向け、校務支援システムの導入の検討を進める。

事業	小学校施設の維持管理、図書の整備、スケートリンクの整備等
現状と成果	町内3小学校のトイレ改修工事や池田小学校支援教室の改修工事を実施。利別小学校スケートリンクはPTAが中心となり造成・維持管理を行っている。
今後の課題	各小学校の老朽化が進んでいるため、大規模な改修が必要になってきており、計画的に改修を進めることができることが求められている。また図書の整備を計画的に行う必要がある。
今後の対応	投資的事業計画に沿った施設改修を進めるとともに、学校図書館を中心とした読書環境の充実と利用拡大を図るために、計画的な図書の更新を検討する。

事業	中学校施設の維持管理、図書の整備等
現状と成果	中学校施設の維持管理、図書の整備を行う。
今後の課題	大規模な改修は当面必要ないが、専門業者による特別清掃等のメンテナンスを計画的に進める必要がある。図書の整備を計画的に行う必要がある。
今後の対応	投資的事業計画に沿った施設改修を進めるとともに、学校図書館を中心とした読書環境の充実と利用拡大を図るために、年間活用計画や基準等の整備を検討する。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 5

担当係名	学校教育係	
施策の大綱に基づく基	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
本計画	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (2) 国際理解・コミュニケーション教育の推進

○事業内容

4112	英語指導助手による授業運営の補助、国際理解教育の実施
------	----------------------------

○評価指標

評価指数の項目	H26	H27	H28
英語指導助手人数	1名	1名	1名

○データ

項目	H26	H27	H28
小学校派遣時数	216時間	184時間	214時間
中学校派遣時数	266時間	244時間	273時間

○事業の推進状況

事業	英語指導助手による授業運営の補助、国際理解教育の実施
現状と成果	英語指導助手の確保の観点から、平成22年度より外国語指導助手の配置事業を展開している業者に委託し、安定的に英語指導助手を派遣している。
今後の課題	平成32年度から外国語に係る学習指導要領の全面実施をうけ、小学校5・6年生で現状の35時間から70時間の教科化、3・4年生は35時間の必修となることから、指導体制の充実が求められる。
今後の対応	英語指導助手を安定的に確保し、活用の多角化等、英語指導を充実し、きめ細かな指導体制の整備を図る。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 6

担当係名	学校教育係	
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (3) 教育施設の管理・整備

○事業内容

4113	スクールバス更新
4113	教職員住宅の維持管理及び修繕

○評価指標

評価指標の項目	H26	H27	H28
スクールバスの台数	8台	8台	8台
教員住宅戸数	30戸	30戸	30戸

○データ

項目	H26	H27	H28
スクールバス利用児童生徒数	83名	82名	95名
教員住宅入居戸数	23戸	23戸	21戸

○事業の推進状況

事業	スクールバス更新
現状と成果	児童生徒に通学の利便性や安定的な運行を行っている。また防犯上及び交通安全上、通学に心配がある地区の児童・生徒に対しても配慮している。
今後の課題	児童生徒の通学時の安全確保と学校プール統合等授業での活用を考慮し、老朽化したスクールバスの計画的な更新が必要がある。
今後の対応	児童生徒数の推移や授業等での活用も加味し、計画的なバスの更新を行う。

事業	教職員住宅の維持管理及び修繕
現状と成果	教職員の福利厚生の一環として、教員住宅の営繕管理を行う。
今後の課題	修繕や設備更新の履歴を適切に管理するとともに、劣化が著しい住宅の用途廃止や建て替えの検討を進める必要がある。
今後の対応	教員住宅の修繕・更新を計画的に進める。特に劣化が著しい住宅については、改築などの検討を進める。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 7

担当係名	学校教育係	
施策の大綱に基づく基本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (4) 危機管理の強化

○事業内容

4114	教育関係機関や家庭などの情報の共有
4114	危機管理マニュアルの作成

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
安全安心連絡システム加入世帯数	231世帯	311世帯	326世帯
危機管理マニュアル作成校数	4校	4校	4校

○データ

項目	H26	H27	H28
安全安心連絡システム加入世帯率 (池田小学校加入率)	58.78%	84.28%	92.09%
(高島小学校加入率)	65.97%	83.58%	93.89%
(利別小学校加入率)	100.00%	100.00%	100.00%
(池田中学校加入率)	61.97%	78.13%	81.36%
	45.57%	86.08%	94.08%

○事業の推進状況

事業	教育関係機関や家庭等の情報の共有
現状と成果	毎月1回開催の校長会議や教頭会議をはじめ、関係機関からの様々な情報を電子メール等で共有し、密に連絡を取り合っている。また保護者に対しては安全安心連絡システムを導入し、子どもたちや施設に関する危機管理と情報共有を進めている。
今後の課題	安全安心連絡システムの加入世帯数が100%でないため、学校の電話連絡網と同時にしている。
今後の対応	安全安心連絡システムの加入促進を図る。

事業	危機管理マニュアルの作成
現状と成果	児童生徒の安全を確保するため、各学校では危機管理マニュアルを作成しており、登下校中の事故や暴力行為、いじめ等への方策を図っている。
今後の課題	いじめや体罰、授業中等の事故を予知・回避するため教育委員会と学校、そして教職員間での更なる共通認識が必要。また地震時の避難場所となっている各学校において、大規模災害時における受け入れ態勢の整備が必要。
今後の対応	些細な状況でも密に連絡を取り合える体制を維持する。また地震時の避難場所の対応は総務課地域防災係と連携し、協議を進めていく。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 8

担当係名	学校給食係	
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (5) 学校給食の充実

○事業内容

4115	学校給食の調理及び配達等、バイキング給食等の実施
4115	学校給食センター施設の維持管理

○評価指標

評価指標の項目	H26	H27	H28
年間給食実数日数	210日	209日	205日

○データ

項目	H26	H27	H28
町内小学校・中学校・池田高等学校（H28から）・北部地域保育所・カトリック幼稚園に通学・通園する児童・生徒・園児・教職員	589人	583人	719人

○事業の推進状況

事業	学校給食の調理及び配達等、バイキング給食等の実施
現状と成果	年間給食日数は、190日を基本とし、各学校との協議により年度当初決定している。平成28年度から池田高校へ給食の提供が始まった。メニューに地場産品を取り入れた給食や卒業記念バイキング給食、リクエスト給食を実施している。また、児童生徒が参加する行事に合わせたメニューを提供し、日本各地の郷土料理や世界の食文化を理解し地元をより身近に感じる給食を実施した。
今後の課題	地場産物を積極的に活用し、地域の食習慣・食生活・産業に対する児童生徒の理解の向上を図る。適正な栄養摂取の必要性や食べることの大切さを伝える。
今後の対応	地元食材を生かした地産地消に取り組み、児童生徒の豊かな食経験の広がりを図るとともに、栄養教諭を中心とした食育指導を推進する。

事業	学校給食センター施設の維持管理
現状と成果	平成27年度に施設の改築を行い、平成28年度から新施設での運用が始まった。ドライシステムの導入による衛生管理の徹底と、作業区域を明確化し調理工程の一方通行による交差汚染防止の徹底が図られた。
今後の課題	各種設備機器及び調理機器のメンテナンスなど、施設の適正な維持管理。
今後の対応	学校給食衛生管理基準に基づいて、栄養教諭、町栄養士、調理員が高い意識をもって衛生管理の徹底を行っていく。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 9

担当係名	学校教育係	
施策の大綱に基づく基本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	1 学校教育の充実 (6) 幼児教育の推進

○事業内容

4116	幼稚園教育の振興のため私立幼稚園就園児世帯に対する助成の実施
4116	幼稚園・保育所・小学校の連携の推進

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
私立幼稚園就園奨励費補助金支給人数	26名	31名	0名
幼稚園・保育所数	3園	3園	3園

○データ

項目	H26	H27	H28
私立幼稚園就園奨励費補助金支給総額	2,888,000円	3,425,400円	0円
幼稚園・保育所・小学校の児童交流の回数	6回	6回	9回

○事業の推進状況

事業	幼稚園教育の振興のため私立幼稚園就園児世帯に対する助成の実施
現状と成果	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担を軽減するため、入園料・保育料の支払額を限度に世帯の所得に応じて補助を行った。
今後の課題	町内の私立幼稚園が平成28年度に子ども・子育て支援新制度に移行したことにより、補助対象外となった。
今後の対応	新制度に移行していない町外の私立幼稚園に通う園児に対して、継続して補助を行う。

事業	幼稚園・保育所・小学校の連携の推進
現状と成果	入学前児童が、小学校への円滑な入学を行うため、小学校での体験交流を行った。
今後の課題	幼児期から小学校の教育活動への円滑な移行を図るため、小学校への入学時における学校のつまずきをなくすなど、より一層の連携を図ることが必要である。
今後の対応	幼稚園・保育所と小学校による教職員間の情報交換等をはじめ、連携に向けた取組を促進し、子どもたちの発達や学び、生活の連続性を踏まえた教育の充実を図る。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 10

担当係名	社会教育係	
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	2 社会教育の推進 (1) 各世代における学習の充実

○事業内容

4121	放課後子ども教室の実施
4121	通学合宿の実施
4121	成人式の実施

○評価指標

評価指標の項目	H26	H27	H28
放課後子ども教室の実施回数（3小学校）		12回	53回
通学合宿の開催日数	4日	4日	4日
成人式の対象者数	89名	81名	84人

○データ

項目	H26	H27	H28
放課後子ども教室の参加人数（延べ）		221名	1, 089名
通学合宿の参加人数	20名	21名	23名
成人式の出席者数	74名	65名	67名

○事業の推進状況

事業	放課後子ども教室の実施
現状と成果	小学校の体育館などをを利用して子どもたちの放課後の居場所づくりを行う事業として、平成27年度に試行、28年度より本格実施している。各小学校ごとに、平日の5時間授業の日に月2回程度、約1時間のプログラムを実施。子どもたちの体力低下が課題の一つとなっていることから、体を動かすプログラムを中心としている。放課後の子どもたちの居場所の一つとして定着しつつあり、少年団などに所属しない子どもにとっては、貴重な運動の場にもなっている。
今後の課題	開始して間もない事業であり、実施体制、実施頻度、プログラム内容など、今後も検討が必要。
今後の対応	より良い事業内容を研究・検討する。

事業	通学合宿の実施
現状と成果	子どもたちが一定の期間、共に寝泊まりし、炊事や洗濯などを自分たちの力で行いながら学校に通う体験は、お互いの立場を理解し協力し合う心を育み、生活する技能や自立心の向上が図られている。女性団体を始め一般町民や池田高校生のボランティアに協力を得て実施している。子どもたちがボランティアの人たちと関わることで、他人に興味を持ち、池田高校への親しみを持つことにもつながっている。池田高校の学生自身の体験学習にも繋がっている。
今後の課題	本事業を通じて体験し習得したことを、その後の子ども達の家庭生活・学校生活につなげることが重要
今後の対応	お手伝いの習慣や生活リズム、時間の使い方の大切さなど、合宿中だけでなく事業説明会や感想文集などでも子どもや保護者に伝える工夫をし、家庭教育についても考えを深める機会となるようにする。

事業	成人式の実施
現状と成果	地元の方々に協力を得たセレモニーやアトラクションを行うことで、地域への意識を高め、有意義なものとなっている。
今後の課題	特段の問題点は見受けられない。
今後の対応	式典の内容等は、他市町村の事例等を参考にしながら、必要に応じ改善を図る。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 11

担当係名	社会教育係	
施策の大綱に基づく基本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	基本計画	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	2 社会教育の推進 (2) 図書館機能の充実

○事業内容

4122	図書館の運営、蔵書管理、施設維持管理
4122	子どもの読書活動の推進に関する事業の実施
4122	図書館の利用促進等に関する事業の実施

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
読書感想文の応募数	33件	35件	41件
ブックスタート実施者数	34名	34名	33名
読み聞かせの会参加者数	156名	85名	61名
どしょかんまつり参加者数	50名	55名	41名

○データ

項目	H26	H27	H28
蔵書冊数（雑誌・視聴覚資料を除く）	50,824冊	52,389冊	53,951冊
登録冊数	1,905冊	1,689冊	2,038冊
登録者数	2,219人	2,393人	2,548人
個人利用人数	11,183人	10,664人	10,624人
個人貸出冊数	37,711冊	36,372冊	35,416冊
団体利用件数	134件	156件	134件
団体利用冊数	1,410冊	1,727冊	1,245冊
相互貸借利用件数	95件	112件	101件
相互貸借利用冊数	529冊	526冊	380冊

○事業の推進状況

事業	図書館の運営、蔵書管理、施設維持管理
現状と成果	平成24年10月に現施設に移転後、平成25年度より指定管理者による管理運営を開始した。指定管理者により開館時間の延長や施設環境の改善などサービス向上が図られている。
今後の課題	維持管理、運営等に関して特段の問題点は見受けられない。
今後の対応	指定管理者との連絡を密にし、蔵書や図書館奉仕により一層の充実を図る。

事業	子どもの読書活動の推進に関する事業の実施
現状と成果	子どもの読書活動を推進するための事業として、指定管理者により「ブックスタート事業」「読み聞かせの会」「子どもの読書感想文事業」を例年実施。このほか、平成28年度は次の事業も実施され、子どもの読書活動の推進が図られている。 ・読書マラソン「秋あきするほど本を読もう。」
今後の課題	読書活動推進のためより効果的な事業内容等の検討。
今後の対応	今後もより一層子どもの読書活動推進が図られるよう、指定管理者の事業展開を後押ししていく。

事業	図書館の利用促進等に関する事業の実施
現状と成果	<p>図書館の利用促進、図書普及等のための事業として、指定管理者により「としょかんまつり」を例年実施。</p> <p>このほか、平成28年度は指定管理者により次の事業も実施され、利用促進と図書普及に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリスマスお楽しみ会</li> <li>・十勝東部4町6館交流連携事業「4町共通読書通帳」の配布</li> <li>・「4 d e ビンゴ」</li> </ul>
今後の課題	図書館や本（読書）の魅力をより良く伝えるための事業内容等の検討。
今後の対応	指定管理者に対し、利用促進・図書普及のため質・量ともに今後とも充実した事業実施を求めるとともに、総合体育館・田園ホールとの3館連携したイベントなど独自の事業展開を後押ししていく。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 12

担当係名	社会教育係	
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	3 生涯学習の推進 (1) 生涯学習支援体制の充実

○事業内容

4131	シニアカレッジ遊ゆう大学の開設
4131	コミュニティスクールの開設

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
遊ゆう大学授業の開催数	10回	10回	10回
コミュニティスクールの開設数	2団体	2団体	2団体

○データ

項目	H26	H27	H28
遊ゆう大学生数	161名	178名	181名
コミュニティスクールの支援事業参加人数	43名	23名	36名

○事業の推進状況

事業	シニアカレッジ遊ゆう大学の開設
現状と成果	60歳以上の町民を対象に4年制で実施。卒業後も聴講生として引き続き受講できるシステムを探っている。年10回程度の講義のほか、学生の自主活動として大学祭やクラブ活動などが活発に行われている。 高齢化率の高い当町において地域の担い手である高齢者の学習・交流・活動の場として大きな役割を果たしている。 この5年間で在籍者が49名(37%)増加している。
今後の課題	在籍者総数の増加傾向への将来的な対応を検討する必要がある。
今後の対応	在籍者へのアンケート実施や他市町村の事例研究などにより、より良い実施方法や内容を検討する。

事業	コミュニティスクールの実施
現状と成果	地域において自主的な学習活動を行う団体をコミュニティスクールとして認定し、自主研修における講師謝礼の一部負担と町有バスの運行により支援を行っている。 かつての婦人学級・家庭教育学級の流れを汲むものであるが、平成6~7年の小規模小学校の統合後に開設数が激減し、現在は一部の地域(本年度2地区)のみで活動が継続されている。
今後の課題	各地域における継続的な学習活動の促進策として一定程度の必要性のあった事業であるが、新たな方向性を模索する必要がある。
今後の対応	事業の再構築を検討する。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 13

担当係名	社会教育係	
施策の大綱に基づく基	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
本計画	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	4 青少年の健全育成 (1) 家庭や学校、地域との連携の強化

○事業内容

4141	学校支援および教育の日に関する事業の実施
4141	父母と教職員のネットワーク形成に対する助成
4141	各種協議会等の会議の開催等

○評価指標

評価指標の項目	H26	H27	H28
学校支援地域本部会議の開催回数	3回	2回	2回
管内PTA研究大会参加者数	新得町 10名	広尾町 11名	帯広市 8名
青少年問題協議会の開催回数	0回	1回	1回
小中高連絡協議会の開催回数	2回	2回	2回

○データ

項目	H26	H27	H28
社会教育委員（学校支援実行委員）人数	14名	14人	14人
学校支援ボランティア登録件数	39件	39件	22件
町PTA連合会教育講演会参加者数	105名	121名	101名
「夏休み・冬休み生活のしおり」等の発行回数	4回	4回	4回

○事業の推進状況

事業	学校支援および教育の日に関する事業の実施
現状と成果	教育に関する理解と関心を高めるため制定した「池田町教育の日」事業として、『教育講演会』『学習成果発表会』『夢事業講演会』を実施した。また、学校・家庭・地域の連携による教育支援活動「学校支援地域本部事業」の取組として、各学校において学校支援ボランティアを活用した授業や活動、長期休業中の学習支援「学び塾」を開催している。
今後の課題	学校・家庭・地域との連携を深め、地域の教育力を高める。
今後の対応	池田町教育の日の普及啓発と、学校支援に関わるボランティアの育成を図る。

事業	父母と教職員のネットワーク形成に対する助成
現状と成果	教育委員会と池田町PTA連合会との共催により「池田町教育の日」事業を開催し、学校・地域・家庭・教育委員会が連携した教育の推進を図った。全道・管内PTA研究大会に参加し、活動のあり方等について研修した。
今後の課題	PTAの連合組織として、単位PTAがより連携した取り組みを行うことが重要。
今後の対応	今後もPTA連合会に対する支援を継続し、「池田町教育の日」事業などで連携・協力していく。

事業	各種協議会等の会議の開催等
現状と成果	青少年問題協議会は、会議を開催し、青少年の指導、育成等に関わる関係行政機関等相互の情報交換等を行った。 小中高連絡協議会は、会議を2回開催し、町内の小中高校の教員等が児童生徒指導や学校内でのきごとにに関して情報交換、協議等を行ったほか「夏休み・冬休みのしおり」「小中高連絡協議会だより」を発行した。
今後の課題	子どもの携帯電話やインターネット利用での危険性や安全な利用法の啓発。「いじめ」が悪いことという認識を広め、「いじめ」を未然に防ぐための啓発。
今後の対応	たより等を通じて児童生徒のみならず保護者や地域などにも啓発する。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 14

担当係名	社会教育係		
施策の大綱に基づく基本計画	基本目標	4	未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1	未来に向けた人づくり
	施策の体系	4	青少年の健全育成 (2) 少年団や子ども会活動の充実

○事業内容

4142	地域子ども会育成連絡協議会の活動支援
4142	リーダー研修への参加支援

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
地域子ども会育成連絡協議会加盟団体数	4団体	4団体	4団体
ジュニアリーダーコース開催数	1回	1回	1回

○データ

項目	H26	H27	H28
地域子ども会育成連絡協議会登録者数	158名	155名	144名
ジュニアリーダーコース参加人数	1名	2名	2名

○事業の推進状況

事業	地域子ども会育成連絡協議会の活動支援
現状と成果	子どもたちの健全育成に一定の役割を果たしてきたが、構成する単位子ども会が減少し連絡協議会としての活動量が低下している。平成26年度より会の事務局を教育委員会で担い、活動の支援を図っている。
今後の課題	協議会に加入する単位（町内会）子ども会の増加を図る。
今後の対応	引き続き教育委員会で会の事務局を担い活動を支援し、未加入の子ども会に連絡協議会への参加を促す。

事業	リーダー研修への参加支援
現状と成果	北海道教育委員会主催の青少年の体験活動推進事業「ジュニアリーダーコース」に中学生1名・池田高校生1名を派遣し、青少年リーダーの育成を図っている。（昨年同様、池田高校生が学校事業で不参加のため中学生2名）
今後の課題	特になし
今後の対応	有意義な事業であり、今後も参加支援を継続する。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 15

担当係名	社会教育係	
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	1 未来に向けた人づくり
	施策の体系	4 青少年の健全育成 (3) 青少年の体験活動の推進

○事業内容

4142	わんぱく体験塾の開設
4142	小学生道外派遣研修事業の実施

○評価指標

評価指数の項目	H26	H27	H28
わんぱく体験塾開催回数	9回	11回	10回
児童生徒の交流・派遣事業数	0回	1回	1回

○データ

項目	H26	H27	H28
わんぱく体験塾 参加人数	115名	107名	83名
小学生道外派遣研修 参加者数	-	73名	39名

○事業の推進状況

事業	わんぱく体験塾の開設
現状と成果	土曜日等の休日を利用し、子ども達に様々な体験活動を実施している。創造性・自発性・実践力の向上の一助となり、異年齢や他の学校の子ども達との交流の場にもなっている。
今後の課題	より多くの児童の参加を図る。
今後の対応	子ども達や保護者の興味関心を引き、かつ教育効果の高い体験メニューを創意工夫し、参加しやすい日程調整を行う。

事業	小学生道外派遣研修事業の実施
現状と成果	沖縄県読谷村の一般家庭に民泊し、現地の歴史・生活・文化等の学習や子ども達との交流、団体行動などを通じて、自立の心を養い、異文化や他者を尊重し、思いやり助け合う心など多くのことを学ぶことができている。
今後の課題	研修内容の一層の充実を図る。
今後の対応	事後研修等により効果を検証し、必要に応じ見直しを検討する。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 16

担当係名	社会教育係	
施策の大綱に基づく基	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
本計画	政策の体系	2 地域文化・スポーツ・交流の推進
	施策の体系	1 地域文化の振興 (1) 文化活動の機会創出

○事業内容

4211	児童生徒の芸術鑑賞会・子ども夢基金事業の開催
4211	芸術文化公演等事業の実施

○評価指標

指 数 の 項 目	H26	H27	H28
小中学生の芸術鑑賞会の開催回数	小学校1回	小学校1回	小学校1回
子ども夢基金事業の開催回数	中学校1回	小1回、中1回	中学校1回
田園ホール芸術文化事業委員会の企画事業回数	4回	4回	4回

○データ

目	H26	H27	H28
小中学生の芸術鑑賞会の参加人数	小学校全児童	小学校全児童	小学校全児童
子ども夢基金事業の参加人数	中学校全生徒	小5・6年、中高全生徒	中学校全生徒
田園ホール芸術文化事業委員会の企画事業参加人数	781名	660名	1,004名

○事業の推進状況

事 業	児童生徒の芸術鑑賞会・子ども夢基金事業の開催
現状と成果	平成28年度は次の事業を実施し、児童生徒の豊かな感性を育んだ。 ・ミュージカル鑑賞「あらしのよるに」※小学校全児童 ・音楽鑑賞「クラシックに親しむ演奏会」※中学校全生徒
今後の課題	児童生徒の成長段階に応じた質の高い事業内容（演目）の選定
今後の対応	他市町村の実績なども参考にし、より良い事業内容（演目）の選定に努める。子ども夢基金や各種助成事業等を活用する。

事 業	芸術文化公演等事業の実施
現状と成果	一般町民向けの芸術文化公演等事業については、田園ホール指定管理者が主体となり実施しており、平成28年度は主に次の事業を実施した。 ・春風亭昇太落語独演会 ・ダ・カーポコンサート
今後の課題	良質な芸術文化を鑑賞する機会を充実する。
今後の対応	各種の補助事業や共催事業などを活用し、田園ホール指定管理者及び各種団体と連携して事業の推進を図る。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 17

担当係名	社会教育係		
施策の大綱に基づく基本計画	基本目標 政策の体系 施策の体系	4 2 1	未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり 地域文化・スポーツ・交流の推進 地域文化の振興 (1) 文化活動の機会創出

○事業内容

4211	文化活動者の表彰等
4211	ふれあい文化講座等の開催
4211	田園ホールの維持管理

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
各文化賞の表彰数	18個人・3団体	19個人	10個人・3団体
ふれあい文化講座数（指定管理者運営）	1講座	0講座	0講座
田園ホール利用件数（延べ件数）	836件	811件	856件

○データ

項目	H26	H27	H28
各文化賞の表彰者総数	32名	19名	44名
ふれあい文化講座の参加人数（実人数）	5名	0名	0名
田園ホール利用人数（実人数）	21,022名	19,125名	24,165名

○事業の推進状況

事業	文化活動者の表彰等
現状と成果	文化の普及振興に資するため、芸術、科学、教育その他文化の分野で事績の顕著な個人及び団体に対し、文化賞、ジュニア文化賞等を贈り表彰する。3月末にスポーツ賞等とともに表彰式を行っている。
今後の課題	表彰による文化の普及振興への効果は把握しにくいが、毎年一定程度の被表彰者がいる。
今後の対応	当面は現状どおり事業を進め、事務の細部については適宜改善を図る。

事業	ふれあい文化講座等の開催
現状と成果	田園ホールの館主催事業として、指定管理者が実施主体となり各種の文化、教養等に関する講座等を実施してきたが、この2年間、指定管理者による実施実績がない。
今後の課題	町民が文化・教養に触れる機会を確保するため、拠点施設である田園ホールの指定管理者により、町民の自主的活動につながる多様な講座の実施が必要。
今後の対応	指定管理者に対し、自主的活動につながる多様な講座を実施するよう強く指導する。

事業	田園ホールの維持管理
現状と成果	町民の教育、文化、芸術等の拠点施設である田園ホールは、平成21年7月から指定管理に移行し、平成25年度から隣接の図書館・総合体育館と3館一体の指定管理となった。平成2年の開館から27年を経過し、施設・設備に老朽化が目立つ。本年度は屋上・外壁防水改修工事、音響設備改修工事、トイレ改修工事を行った。
今後の課題	老朽化した施設・設備の計画的な修繕・更新。
今後の対応	指定管理者と連絡を密にしながら、施設・設備の計画的な更新を図る。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 18

担当係名	社会教育係		
施策の大綱に基づく基	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり	
本計画	政策の体系	2 地域文化・スポーツ・交流の推進	
	施策の体系	1 地域文化の振興 (2) 文化団体サークルの支援	

○事業内容

4212	文化協会の各種活動への支援
4212	女性団体の育成及び活動支援

○評価指標

評価指標の項目	H26	H27	H28
文化祭の開催	1回	1回	1回
文芸誌の発行（隔年）	0回	1回	0回
女性団体協議会研修・講習会の開催回数	4回	4回	4回
女性フェスティバルの開催回数	1回	1回	1回

○データ

項目	H26	H27	H28
文化祭来場者延数	1,211名	1,268名	935名
文芸誌の発行部数	0部	230部	0部
女性団体協議会研修・講習会の参加人数	36名	73名	91名
女性フェスティバルの参加人数	300名	300名	350名

○事業の推進状況

事業	文化協会の各種活動への支援
現状と成果	文化協会が中心となり、毎年文化祭が実施され、文化活動の発表の場となっている。また書籍での発表の場として隔年で発行されている文化誌「ふんべ」は、編集委員体制が課題となっていたが、次回発行に向けた体制は整っている。本年度は「とかち文化の集い」が池田町文化協会主管により実施された。
今後の課題	ライフスタイルの変化などにより団体による主体的な文化活動は縮小傾向にあり、文化団体構成員の固定化・高齢化が顕著になっている。 平成27年度より田園ホール指定管理者が事務局機能を補助的に担っているが、役員の担い手が不足している現状にある。
今後の対応	文化協会への支援を継続し、必要に応じてアドバイスを行う。

事業	女性団体の育成及び活動支援
現状と成果	女性団体協議会は、学習会の開催、町主催の青少年育成事業への協力、「いけどっ子あつまれ」の共催実施など、幅広い活動を行っている。 女性フェスティバルは、町内の様々な女性を中心とした団体などが協力して、芸能発表、展示、お茶席など様々な催しを行い、最終年度の今年度は「ありがとう、女性フェスティバル」をテーマとして実施された。
今後の課題	女性の社会進出や価値観の多様化などにより、女性団体に若年層が加入せず、構成員・構成団体の固定化・高齢化が進んでいる。 女性フェスティバルは、担い手の世代交代が進まず参加者も減り、実行委員会の中核となる特定の人材の負担が増し、終了する運びとなった。
今後の対応	支援を継続し、必要に応じてアドバイスを行う。長期的には、現代の社会情勢やニーズに合った女性の学習活動・地域活動の支援のあり方を検討していく。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 19

担当係名	社会教育係	
施策の大綱 に基づく基 本計画	基本目標	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
	政策の体系	2 地域文化・スポーツ・交流の推進
	施策の体系	1 地域文化の振興 (3) 文化財の保護

○事業内容

4213	文化財保護審議会の開催・町指定文化財の指定、保存活用
4213	郷土資料の整理保存・郷土資料館の整備

○評価指標

指 数 の 項 目	H26	H27	H28
文化財保護審議会の開催	0回	0回	0回
新たな郷土資料の収集（寄贈）数	0点	2点	9点

○データ

目	H26	H27	H28
町指定文化財の新たな指定	0点	0点	0点
郷土資料庫の見学者数	47名	90名	61名

○事業の推進状況

事 業	文化財保護審議会の開催・町指定文化財の指定、保存活用
現状と成果	池田3遺跡等から出土した遺物のうち35点が平成8年に町指定文化財に指定されている。当該指定文化財は平成25年度、近牛郷土資料庫から旧高島中学校校舎に保管場所を移転した。
今後の課題	町指定文化財の展示・公開
今後の対応	平成29年5月に開館する郷土資料館において、ガイダンス展示及び収蔵展示により町指定文化財を適切に展示する。

事 業	郷土資料の整理保存・郷土資料館の整備
現状と成果	本年度は、旧高島中学校校舎を新たな郷土資料館として整備するための改修工事を行い、ガイダンス展示室・展示パネル・玄関スロープ・多目的トイレなどを整備した。また、資料の整理・収蔵・展示を更に進めた。
今後の課題	平成29年5月に郷土資料館を開館する。平成28年8月の台風被害による影響で郷土資料館の外構工事が未実施となっている。
今後の対応	郷土資料館の開館記念行事を行うとともに、町HPやパンフレット作成などで施設をPRする。平成29年度中に外構工事を行う。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 20

担当係名	社会教育係		
施策の大綱に基づく基 本計画	基本目標 政策の体系 施策の体系	4 2 2	未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり 地域文化・スポーツ・交流の推進 スポーツ活動の充実 (1) 生涯スポーツの推進

○事業内容

4221	各種スポーツ大会における成績優秀者に対する表彰
4221	各種大会・教室等の開催を通じてのスポーツを楽しむ機会の提供
4221	体育協会、少年団活動等への支援

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
各スポーツ賞の表彰種目数	35個人・12団体	46個人・12団体	46個人・12団体
教委主催各種大会の参加チーム数	64チーム	61チーム	57チーム
スポーツ少年団等全国、全道大会への助成件数	12件	10件	14件

○データ

項目	H26	H27	H28
各スポーツ賞の個人・団体の表彰者数	129名	110名	112名
各種大会参加者数	449名	426名	415名
スポーツ少年団等全国、全道大会への助成額	313千円	305千円	1,181千円

○事業の推進状況

事業	各種スポーツ大会における成績優秀者に対する表彰
現状と成果	スポーツの普及振興に資するため、事績の顕著な個人及び団体に対し、スポーツ賞、ジュニアスポーツ賞等を贈り表彰する。3月末に文化賞等とともに表彰式を行っており、毎年、一定程度の被表彰者がいる。
今後の課題	表彰によるスポーツの普及振興への効果は把握しにくい。
今後の対応	当面は現状どおり事業を進め、事務の細部については適宜改善を図る。

事業	各種大会・教室等の開催を通じてのスポーツを楽しむ機会の提供
現状と成果	地域対抗大会（ソフトボール、ペタンク、カーリング、ミニバレー）などで町民にスポーツに親しむ機会を提供し、町民の体力向上と健康増進、地域コミュニティの推進に寄与している。
今後の課題	地域住民の減少や高齢化などにより、参加チーム・参加者が減少している。
今後の対応	より参加しやすい開催内容を工夫するとともに、地域対抗大会については各地域の中で一部の愛好者だけでなく広く参加者を募るよう促す。

事業	体育協会、少年団活動等への支援
現状と成果	全国全道スポーツ大会に参加する少年団等への助成と、体育協会などの各種団体活動に対する助成により、スポーツの普及と町民の健康増進に寄与している。本年度よりスクールバスの回送便を活用し、少年団活動への参加が困難な児童への支援を行った。
今後の課題	各少年団では少子化による構成員の減少により、一部でチーム編成が厳しい状況になっている。
今後の対応	今後も少年団活動や各団体等の支援を継続し、活動の活性化によりスポーツの推進を図っていく。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 21

担当係名	社会教育係		
施策の大綱に基づく基	基本目標	4	未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり
本計画	政策の体系	2	地域文化・スポーツ・交流の推進
	施策の体系	2	スポーツ活動の充実 (2) スポーツ関係施設の管理、運営

○事業内容

4222	清見ヶ丘・北部地域スケートリンクの造成と維持管理
4222	カーリング場の維持管理

○評価指数

評価指数の項目	H26	H27	H28
清見ヶ丘スケートリンクでの大会開催回数	3回	3回	2回
カーリング場利用日数	31日	35日	28日

○データ

項目	H26	H27	H28
清見ヶ丘スケート大会参加者数	103名	81名	83名
カーリング場利用者数	977名	848名	835名

○事業の推進状況

事業	清見ヶ丘・北部地域スケートリンクの造成と維持管理
現状と成果	清見ヶ丘リンクは平成26年度より造成・維持管理を業者委託としている。北部地域リンクは除雪及び防風ネット設置・撤去は業者委託とし、造成・維持管理は北部スケート振興会が行っている。学校授業や少年団活動、各種大会、教室などで利用され、町民の冬季における健康増進とスポーツ振興が図られている。
今後の課題	少子化などに伴うスケート人口の減少。北部地域リンクの造成関係者（児童保護者）減少による作業負担増に対応した造成体制の検討。
今後の対応	北部地域リンクについて、維持管理を除く造成部分の業者委託を実施する。

事業	カーリング場の維持管理
現状と成果	日本におけるカーリング発祥の地として、協会による講習会を開催するなど競技の普及を図るとともに冬季間の町民の健康増進に寄与している。
今後の課題	カーリング人口の高齢化と過減、施設の老朽化。屋内施設化の要望がある。
今後の対応	協会等による体験教室の開催や修学旅行受入により競技の普及を図る。池田町スポーツ施設の整備等計画に基づき、今後の利用状況等を見据えながら、施設の大規模改修又は新規整備を検討する。

池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況についての点検及び評価

整理番号 22

担当係名	社会教育係	
施策の大綱に基づく基 本計画	基本目標 政策の体系	4 未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくり 2 地域文化・スポーツ・交流の推進
	施策の体系	2 スポーツ活動の充実 (2) スポーツ関係施設の管理、運営

○事業内容

4222	サッカー・ソフトボール場等の屋外体育施設整備
4222	高島町民プールの整備、維持管理
4222	池田小学校プール等学校施設の一般開放実施
4222	総合体育館の整備、維持管理

○評価指標

評価指数の項目	H26	H27	H28
河川パークソフトボール場利用回数	114回	174回	130回
高島町民プール利用日数	40日	40日	42日
池小プールの一般開放日数	61日	61日	61日

○データ

項目	H26	H27	H28
河川パークソフトボール場利用人数	2,280名	3,540名	2,600名
高島町民プール利用人数	625名	583名	640名
池小プール一般開放の利用人数	1,655名	1,287名	1,172名
総合体育館利用人数	24,615名	34,565名	39,324名

○事業の推進状況

事業	サッカー・ソフトボール場等の屋外体育施設整備
現状と成果	町民がスポーツに親しみ、充実したスポーツ活動ができるよう、屋外体育施設の整備・施設利用の調整等の管理運営を行っている。平成28年8月の台風被害により、河川パークの屋外体育施設は利用中止とした。
今後の課題	施設の維持管理と老朽化への対応。河川パーク屋外体育施設の復旧。
今後の対応	河川パーク屋外体育施設の復旧工事を進めるとともに、池田町スポーツ施設の整備等計画に基づき、今後も屋外施設の改修等を計画的に進めていく。

事業	高島町民プールの整備、維持管理
現状と成果	高島小学校の水泳授業のほか主に北部地域の児童生徒・幼児に利用され、夏休み中の子ども達の居場所としての機能も果たしている。 本年度よりプール管理を運営委員会から業者委託に移行した。
今後の課題	屋根ビニール設置撤去に係るコスト増・施設の老朽化による廃止・統合の検討。
今後の対応	新たなプールを整備し、既存の3プールを廃止・統合する。

事業	池田小学校プール等学校施設の一般開放実施
現状と成果	池田地区に町民プールがないことから池田小学校プールを一般開放することで、町民の体力向上と健康の増進に寄与している。
今後の課題	開放事業管理委託業者、学校及び水泳協会との連携等
今後の対応	開放事業管理委託業者、学校及び水泳協会との連携等を密にし、安全な施設開放を図る。

事業	総合体育館の整備、維持管理
現状と成果	生涯スポーツ活動の中心施設である総合体育館は、平成22年4月から指定管理に移行し、平成25年度から隣接の図書館・田園ホールと3館一体の指定管理となった。館主催のスポーツ講座等も実施され、有効な活用が図られている。
今後の課題	設備・備品の計画的な更新・修繕が必要。
今後の対応	指定管理者と連絡を密にしながら、設備・備品を計画的に更新・修繕する。

## ※資料編

- 学校教育
- 学校給食
- 社会教育・文化振興
- 図書館
- 社会体育

学校教育

1 学校別児童生徒数・学級数の推移

(平成29年5月1日現在からの推計)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度	
小学校名	学年	児童数	学級数														
池田小学校	1年生	34	1	22	1	31	1	23	1	21	1	18	1	24	1	21	1
	2年生	21	1	32	1	22	1	31	1	23	1	21	1	18	1	24	1
	3年生	27	1	20	1	32	1	22	1	31	1	23	1	21	1	18	1
	4年生	32	1	27	1	20	1	32	1	22	1	31	1	23	1	21	1
	5年生	28	1	30	1	26	1	20	1	32	1	22	1	31	1	23	1
	6年生	31	1	27	1	30	1	26	1	20	1	32	1	22	1	31	1
合計		173	6	158	6	161	6	154	6	149	6	147	6	139	6	138	6
高島小学校	1年生	2	1	4	1	3	1	-		2	1	2	1	3	1	2	1
	2年生	1		2		4		3	1	-		2		2		3	
	3年生	5	1	1	1	2	1	4		3		-		2	1	2	1
	4年生	3		5		1		2	1	4	1	3	1	-		2	
	5年生	3	1	3	1	5	1	1		2		4		3		-	
	6年生	4		3		3		5	1	1	1	2	1	4	1	3	1
合計		18	3	18	3	18	3	15	3	12	3	13	3	14	3	12	3
利別小学校	1年生	9	1	8	1	11	1	7	1	12	1	8	1	13	1	8	1
	2年生	12	1	9	1	8	1	11	1	7	1	12	1	8	1	13	1
	3年生	14	1	12	1	9	1	8	1	11	1	7	1	12	1	8	1
	4年生	11	1	14	1	12	1	9	1	8	1	11	1	7	1	12	1
	5年生	16	1	11	1	14	1	12	1	9	1	8	1	11	1	7	1
	6年生	17	1	16	1	11	1	14	1	12	1	9	1	8	1	11	1
合計		79	6	70	6	65	6	61	6	59	6	55	6	59	6	59	6
小学校合計	1年生	45	2	34	1	45	2	30	1	35	1	28	1	40	2	31	1
	2年生	34	1	43	2	34	1	45	2	30	1	35	1	28	1	40	1
	3年生	46	2	33	1	43	2	34	1	45	2	30	1	35	1	28	1
	4年生	46	2	46	2	33	1	43	2	34	1	45	2	30	1	35	1
	5年生	47	2	44	2	45	2	33	1	43	2	34	1	45	2	30	1
	6年生	52	2	46	2	44	2	45	2	33	1	43	2	34	1	45	2
合計		270	11	246	10	244	10	230	9	220	8	215	8	212	8	209	7

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平成34年度		平成35年度	
中学校名	学年	生徒数	学級数														
池田中学校	1年生	51	2	51	2	46	2	44	2	45	2	33	1	43	2	34	1
	2年生	69	2	53	2	51	2	46	2	44	2	45	2	33	1	43	2
	3年生	47	2	70	2	53	2	51	2	46	2	44	2	45	2	33	1
合計		167	6	174	6	150	6	141	6	135	6	122	5	121	5	110	4

※児童生徒数は学年学級と支援学級児童生徒数の合算とし、学級数は学年学級数とする。

## 2 小中学校等整備工事の実施状況

工事名	工事費	内容
池田・利別小学校プール上屋シート設置工事	9, 570, 960円	池田小学校及び利別小学校のプール上屋シート取り付け
池田・利別小学校プール上屋シート撤去工事	7, 183, 080円	池田小学校及び利別小学校のプール上屋シート撤去
池田小学校特別支援教室改修工事	648, 000円	支援学級の増設に向けた教室の分割改修
池田小学校プール水槽塗装	199, 800円	プール水槽の塗装ひび割れ部分の塗装
池田小学校プール屋外排水管修理	119, 880円	シャワー系統排水管の詰まり解消工事

## 3 教職員住宅入居の現状

学校名	住宅戸数	入居戸数	入居率
池田小学校	8	4	50. 0%
高島小学校	3	3	100. 0%
利別小学校	9	7	77. 8%
池田中学校	10	7	70. 0%
合 計	30	21	70. 0%

## 4 日本スポーツ振興センター災害共済給付の状況

共済掛金	401, 660円	
一般児童分	198, 450円	945円×210名
一般生徒分	119, 070円	945円×126名
準要保護児童生徒分	90, 720円	945円× 96名
控除額	7, 130円	230円× 31名
要保護児童生徒分	650円	65円× 10名
控除額	100円	10円× 10名
小学校給付件数	10件	
給付金額	57, 268円	
中学校給付件数	16件	
給付金額	285, 923円	
給付件数合計	26件	
給付金額合計	343, 191円	

## 5 教材用消耗品等の状況

小 学 校	教材用消耗品費	798, 473円
	図書備品	556, 957円
	教材備品	328, 504円
	合 計	1, 683, 934円
	児童1人あたり	6, 237円

中 学 校	教材用消耗品費	477, 098円
	図書備品	359, 377円
	教材備品	326, 160円
	合 計	1, 162, 635円
	生徒1人あたり	6, 760円
備 考	児童数	270名
	生徒数	172名
	合 計	442名

## 6 学校図書の整備状況

(平成29年3月31日現在)

学校名	図書標準	蔵書数	達成率
池田小学校	7, 480冊	10, 785冊	144. 2%
高島小学校	4, 560冊	2, 832冊	62. 1%
利別小学校	6, 040冊	8, 099冊	134. 1%
池田中学校	9, 040冊	7, 985冊	88. 3%

## 7 就学援助の状況

	児童生徒数	申請数	認定数	申請率	認定率
小学校	270人	63人	54人	23. 3%	20. 0%
中学校	172人	43人	42人	25. 0%	24. 4%
合 計	442人	106人	96人	24. 0%	21. 7%

小学校	人数	扶助額	1人平均
給食費	49	2, 067, 264円	42, 189円
学用品費	49	542, 452円	11, 070円
体育実技用具費	11	127, 490円	11, 590円
宿泊を伴わない校外活動費	1	1, 100円	1, 100円
宿泊を伴う校外活動費	11	18, 960円	1, 724円
修学旅行費	10	219, 000円	21, 900円
医療費	0	0円	0円
新入学用品費	8	163, 760円	20, 470円
PTA会費	39	129, 004円	3, 308円
計		3, 269, 030円	60, 538円

中学校	人数	扶助額	1人平均
給食費	39	1, 965, 240円	50, 391円
学用品費	39	870, 480円	22, 320円
宿泊を伴わない校外活動費	11	5, 500円	500円
宿泊を伴う校外活動費	14	26, 670円	1, 905円
修学旅行費	12	798, 636円	66, 553円
医療費	0	0円	0円
新入学用品費	13	306, 150円	23, 550円

クラブ活動費	27	410, 400円	15, 200円
生徒会費	39	15, 600円	400円
PTA会費	31	93, 000円	3, 000円
計		4, 491, 676円	106, 945円

#### 8 特別支援教育就学奨励費扶助の状況

小学校	支給対象児童数	6人
	金額	195, 561円
	学用品費	34, 260円
	体育実技用具費	17, 385円
	新入学用品費	10, 235円
	修学旅行費	0円
	学校給食費	132, 756円
	宿泊を伴わない校外活動費	0円
宿泊を伴う校外活動費		925円

中学校	支給対象生徒数	1人
	金額	64, 670円
	学用品費	11, 160円
	体育実技用具費	0円
	新入学用品費	0円
	修学旅行費	28, 335円
	学校給食費	25, 175円
	宿泊を伴わない校外活動費	0円
宿泊を伴う校外活動費		0円

#### 9 町内小・中学校児童生徒の長欠（30日以上欠席）状況

池田町の不登校の状況等（公立小・中学校）

	不登校児童生徒数	全児童生徒数に対する 不登校児童生徒の割合
小学校	2人	0. 74%
中学校	2人	1. 16%

#### 10 教職員研修参加状況

◇北海道教育委員会等研修

- ・道徳教育推進教師研修 池田小学校 1名 高島小学校 1名  
利別小学校 1名 池田中学校 1名
- ・北海道道徳教育推進校事業推進校における授業公開・実践発表  
池田小学校 1名 高島小学校 1名 利別小学校 1名 池田中学校 1名
- ・メンタルヘルスセミナー 高島小学校 1名
- ・公立小・中学校新任校長研修会 高島小学校 1名
- ・十勝管内広域人事異動教職員情報交換会 池田小学校 1名
- ・北海道小・中学校教育課程改善協議会 池田小学校 1名 池田中学校 2名
- ・ほっかいどう学力向上セミナー 池田小学校 2名 利別小学校 1名

- ・小学校体育実技講習会 利別小学校 1名
- ・教職研究者（小・中学校）研究協議会 池田小学校 1名
- ・道立高等学校入学者選抜に関する説明会 池田中学校 2名
- ・第2回学校力向上に関する総合実践事業推進協議会アドバイザー講演  
池田小学校 1名 高島小学校 1名 利別小学校 1名
- ・教育局道徳教育事業  
池田小学校 1名 高島小学校 1名 利別小学校 1名 池田中学校 1名
- ・体力向上プログラム研修 利別小学校 1名

◇十勝教育研修センター

○実技講座

- |          |       |                      |
|----------|-------|----------------------|
| ・理科（中学校） | 池田中学校 | 1名                   |
| ・図画工作    | 池田小学校 | 1名 高島小学校 1名          |
| ・美術      | 池田中学校 | 1名                   |
| ・音楽      | 池田小学校 | 2名 利別小学校 1名 池田中学校 1名 |

○演習・交流講座

- |            |       |    |
|------------|-------|----|
| ・社会        | 池田中学校 | 2名 |
| ・外国語       | 池田中学校 | 1名 |
| ・道徳        | 池田中学校 | 1名 |
| ・生徒指導・教育相談 | 池田中学校 | 1名 |
| ・校内研修      | 池田中学校 | 1名 |
| ・特別支援教育    | 池田小学校 | 1名 |
| ・性教育       | 池田中学校 | 1名 |
| ・学校における食育  | 池田小学校 | 1名 |
| ・学校事務      | 利別小学校 | 1名 |

○特別講座

- |              |       |                      |
|--------------|-------|----------------------|
| ・民間・地域に学ぶ仕事術 | 池田小学校 | 1名                   |
| ・学校経営・危機管理   | 池田小学校 | 1名 高島小学校 1名 利別小学校 1名 |

◇初任者研修 池田中学校 1名

◇池田町研修

- |            |       |             |
|------------|-------|-------------|
| ・AED取扱い講習会 | 高島小学校 | 1名 利別小学校 2名 |
| ・町内施設研修会   | 池田小学校 | 2名 高島小学校 1名 |
|            | 利別小学校 | 3名 池田中学校 1名 |

1.1 各小中学校 学校評議員会 開催状況

◇池田小学校

- ・第1回評議員会（4名） 6月13日 学校経営等について
- ・第2回評議員会（3名） 11月21日 学校運営状況の説明
- ・第3回評議員会（4名） 2月20日 学校評価の結果について

◇高島小学校

- ・第1回評議員会（3名） 7月13日 学校経営等について
- ・第2回評議員会（4名） 12月 3日 2学期の教育活動等について
- ・第3回評議員会（3名） 2月17日 学校評価の結果について

◇利別小学校

- ・第1回評議員会（5名） 6月24日 学校経営等について
- ・第2回評議員会（3名） 11月27日 2学期の教育活動等について

- ・第3回評議員会（4名） 2月16日 学校評価の結果について
- ◇池田中学校
- ・第1回評議員会（5名） 7月19日 学校経営等について
- ・第2回評議員会（2名） 12月 9日 2学期の教育活動等について
- ・第3回評議員会（4名） 3月22日 学校評価の結果について

## 学校給食

### 1 稼動日数及び供給食数

#### 給食供給学校

小学校 3校 池田小学校、高島小学校、利別小学校

中学校 1校 池田中学校

高等学校 1校 池田高等学校

保育所 1所 北部地域保育所

幼稚園 1園 カトリック幼稚園

稼動日数 池田小学校 199日 39,802食 利別小学校 198日 18,705食

高島小学校 194日 5,559食 池田中学校 201日 37,438食

池田高等学校 178日 25,824食

稼動日数 北部地域保育所 193日 2,123食 カトリック幼稚園 141日 4,201食

### 2 バイキング給食の実施

学校名	実施月日	事前指導	実施人数
池田小学校	2月21日(火)	2月16日(木)	児童(31名) 教員(8名) 招待者等(15名)
高島小学校	2月 7日(火)	2月 3日(金)	児童(4名) 教員(4名) 招待者等(13名)
利別小学校	2月14日(火)	2月 9日(木)	児童(17名) 教員(6名) 招待者等(14名)

### 3 特別給食の実施

実施日	給食内容	実施日	給食内容
4月15日	進学・入学・給食センター改築 まるごとお祝い給食	11月 8日	良い歯の日給食
		11月22日	農業体験給食第1弾
5月 2日	端午の節句給食	11月30日	農業体験給食第2弾
6月 8日	かみかみ給食	12月21日	冬至給食
7月 6日	七夕給食	12月22日	クリスマス給食
7月11日	沖縄給食第1弾	1月24日	昭和の人気定番給食
7月20日	沖縄給食第2弾	1月25日	日本ではじめての給食
8月19日	ブラジル給食	1月27日	池田町産給食
8月31日	野菜の日給食	1月30日	農業体験給食第3弾
9月 1日	防災給食	2月 3日	節分給食
9月15日	十五夜給食	2月10日	十勝の食給食
9月16日	まごわやさしい給食	3月 3日	ひなまつり給食
10月7日	目の愛護デー給食	3月2日~14日	リクエスト給食

#### 4 施設見学受け入れ

受入日	団体名	人数
4月 3日	町民施設見学会	約 70人
6月15日	池田小学校2年生	24人
6月20日	池田小学校PTA役員	7人
7月 8日	浦幌町教育委員会	6人
8月10日	北海道学校給食研究大会	約100人
10月19日	池田小学校PTA広報部	4人
10月14日	高島小学校1・2年生	4人
10月21日	利別小学校3年生	16人
11月 2日	(株)ゆたか	14人
11月 7日	自治交友会	8人
1月19日	フレッシュミズ(池田農協)	10人

#### 5 講師派遣

講師名：栄養教諭 向井絵里

講座日：10月19日（水） 19:00～20:30

会場：池田中学校家庭科室

講座名：池田中学校PTA研修会 「ものづくり講習会」

～給食人気メニュー調理講座～

「ごぼうスパゲティ」「春雨サラダ」

参加者：池田中学校保護者及び教職員26名

## 社会教育・文化振興

### 1. 文化賞、スポーツ賞等

文化・スポーツ 表 彰	25年度		26年度		27年度		28年度	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体	個人	団体
文化賞							1	1
文化奨励賞	2		2		1			
ジュニア文化賞	3		3		2		2	
ジュニア文化奨励賞	8	4	13	3	16		7	2
計	13	4	18	3	19	0	10	3
スポーツ賞	8	1	3	1	7	1	5	3
スポーツ奨励賞	6	3	5	4	4	5	12	2
ジュニアスポーツ賞	9	1	11	3	10	1	9	2
ジュニアスポーツ奨励賞	19	5	16	4	25	5	20	5
計	42	10	35	12	46	12	46	12

### 2. 成人式

- 実施日 平成29年1月8日(日)
- 成人者数 84名(うち式典出席者 67名)

### 3. 池田町シニアカレッジ遊ゆう大学

- 在籍者数(※入学式時)  
計 181名(1年生20名、2年生18名、3年生14名、4年生19名、聴講生110名)
- 事業の実績  
授業(講義)10回実施、入学式・始業式・卒業式・修了式、ほかクラブ活動・大学祭等  
学生の自主活動の補助
- 授業内容

月	授業内容(演題等)/ 講 師
5	死生観とアンガーマネジメント / 日本アンガーマネジメント協会 長縄史子 氏
6	私の似顔絵人生 / 似顔絵パフォーマー みやまひろお 氏
7	怪談話の世界(一般公開講座) / 市立小樽美術館 館長 新明英仁 氏
8	今日からできる健康づくりで、長寿社会を元気に過ごそう! / 北翔大学 生涯スポーツ学部 教授 小坂井留美 氏
9	クラシックに親しむ演奏会(池田町子ども夢事業) / 銅銀久弥 氏 ほか4名
10	星座のお話 / りくべつ宇宙地球科学館 中島克仁 氏
11	真冬のマンゴーづくりで知った北の大地の可能性『見方を変える』 / (株)ノラワークスジャパン 代表取締役 中川裕之 氏
12	ゆったり太極拳 / 日本武術太極拳連盟 公認指導員 新津有輝子 氏
2	気になりませんか?前立腺や尿失禁のこと… / 西2条腎泌尿器科病院 理事長兼病院長 高橋和明 氏
3	楽しい人生 今が旬 / 芝垣美男法律事務所 所長 芝垣美男 氏

#### 4. 池田町コミュニティスクール

支援事業の活用内容

##### 1) 高島小学校力トレア学級

視察研修（13名）・実技実習（11名）への町有バスの運行

##### 2) 川合コスモスクール

視察研修（12名）への町有バスの運行

#### 5. 学校支援地域本部事業

○教育委員会主催による長期休業中の学習支援

・夏休み学び塾（池田小学校3日間、高島小学校3日間、利別小学校3日間）

・冬休み学び塾（池田小学校2日間、高島小学校3日間、利別小学校2日間）

○各学校における学校支援ボランティアの活用

・池田小学校（読み聞かせ/4月～10月隔週火曜日低学年でうち月一回は全学年

・5月～3月毎週月・水曜日、放課後学習支援いっぽ55回他）

・高島小学校（農業体験・食育/6～9月中4回、スキー指導他）

・利別小学校（田植え体験/5月23日、地域交流集会/10月14日他）

#### 6. 教育の日事業

・教育の日教育講演会（池田町PTA連合会との共催） 参加者101名

演題：ネットトラブル、ネットいじめから子どもを守る

講師：安川雅史 氏

・学習成果発表会

発表内容：沖縄県読谷村派遣研修について

発表者：小学生道外派遣研修団 第7班児童

・夢事業講演会（池田中学校全生徒対象）〔8/25〕

演題：命の授業 講師：腰塚勇人 氏

#### 7. 青少年健全育成に関する事業

1) 小学生道外派遣研修事業

派遣先 沖縄県読谷村

実施日 平成28年7月25日～29日（4泊5日）

対象者 町内小学5～6年生 参加39名（池田小31名、高島小2名、利別小6名）

2) 通学合宿

実施日 平成28年10月10日～10月13日（3泊4日）

会場 池田町西部地域コミュニティセンター

対象者 町内小学4～6年生 参加23名（池田小4名、高島小1名、利別小18名）

3) わんぱく体験塾

①	鯉釣りを楽しもう！	11人	②	羊毛体験	6人
③	サイエンス（低学年）	13人	④	乗馬体験	13人
⑤	サイエンス（高学年）	3人	⑥	たこ作り	14人
⑦	カーリング教室	9人	⑧	紙ヒコーキ教室	4人
⑨	歩くスキー教室	6人	⑩	冬のトレッキング	4人

4) 各種協議会等

・池田町青少年問題協議会 会議の開催（1回）

・池田町小中高連絡協議会 会議の開催（2回）、夏休み・冬休み生活のしおりの発行、

児童生徒巡回活動、小中高連絡協議会だよりの発行

- ・十勝地区広域補導連絡協議会 総会への出席、バス・列車添乗指導への参加
  - ・青少年健全育成地域合同会議 会議への出席
  - ・十勝青少年育成推進指導員会 総会への出席
- 5) リーダー研修等への派遣等
- ・「少年の主張」十勝地区大会 参加者の派遣（中学生 1名）
  - ・ジュニアリーダーコース in あしょろ 参加者の推薦、参加負担金の助成（中学生 2名）
  - ・十勝東部4町地域子ども会交流会（池子連より 9名の児童が参加）

## 8. 芸術文化関係事業の実施状況

- 1) 学校芸術鑑賞事業（教育委員会主催）
  - ・芸術鑑賞会  
ミュージカル「あらしのよるに」鑑賞会（小学校全児童対象）〔8/22〕
  - ・子ども夢事業（教育委員会主催事業）  
「クラシック音楽に親しむ演奏会」（中学校全生徒対象）〔9/13〕
- 2) 田園ホール芸術文化事業委員会主催事業
  - ・春風亭昇太落語独演会〔10/13〕(401名)
  - ・ダ・カーポコンサート〔3/12〕(263名)
  - ・池田町スプリングコンサート〔3/16〕※共催事業（約250名）
  - ・いけだっ子あつまれ〔3/28〕※共催事業（約90名）
- 3) 田園ホール指定管理者主催事業  
○生涯学習講座等
  - ・しんか展〔7/5～10〕(約100名)

## 9. 社会教育・文化施設の利用状況

- 1) 田園ホール
  - ・利用件数 856 件 ・利用人数 24,165 人
- 2) 郷土資料庫  
(9月から1月まで、郷土資料館への改修工事を実施。工事期間外に、職員立会のもとで施設見学として 5 件・61 人に対応)

## 10. 社会教育・文化振興関係の補助金交付状況

- 1) 池田町 P T A 連合会 210,000 円（各種研究大会等への参加、校外指導等）
- 2) 池田町女性団体協議会 64,000 円（青少年育成事業の実施等）
- 3) 池田町女性フェスティバル実行委員会 24,767 円（女性フェスティバルの実施）
- 4) 池田町地域子ども会育成連絡協議会 58,000 円（交流会の実施等）
- 5) 池田町文化協会 420,000 円（池田町文化祭の実施、とかち文化の集いの実施（主管））

図書館

平成28年度 池田町立図書館 データ 平成29年3月末日現在

(1) 蔵書冊数

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	蔵書数(冊)	比率(%)	蔵書数(冊)	比率(%)	蔵書数(冊)	比率(%)
一般書	33,352	65.6	34,497	65.8	35,547	65.9
児童書	17,472	34.4	17,892	34.2	18,404	34.1
合計	50,824	100.0	52,389	100.0	53,951	100.0
町民1人あたり	7.05	—	7.38	—	7.75	—

(2) 登録冊数

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	登録数(冊)	比率(%)	登録数(冊)	比率(%)	登録数(冊)	比率(%)
一般書	1,475	77.4	1,206	71.4	1,490	73.1
児童書	430	22.6	483	28.6	548	26.9
合計	1,905	100.0	1,689	100.0	2,038	100.0
購入	1,223	79.2	1,285	—	1,298	—
寄贈	682	20.8	406	—	715	—
その他	0	0.0	△2	—	25	—

(3) 登録数

① 個人

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	登録数(人)	比率(%)	登録数(人)	比率(%)	登録数(人)	比率(%)
町内	2,097	94.5	2,252	94.1	2,372	93.1
児童	442	19.9	493	20.6	538	21.1
一般	1,655	74.6	1,759	73.5	1,834	72.0
町外	122	5.5	141	5.9	176	6.9
児童	16	0.7	23	1.0	28	1.1
一般	106	4.8	118	4.9	148	5.8
合計	2,219	100.0	2,393	100.0	2,548	100.0

② 団体

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
登録数(件)	41	41	42

(4) 登録率(個人)

(年度末人口 7,206人 7,097人 6,963人)

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
登録率(%)	30.8	33.7	36.6

(5) 利用数

① 個人

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	利用数(人)	比率(%)	利用数(人)	比率(%)	利用数(人)	比率(%)
町内	10,972	97.7	10,432	97.8	10,331	97.2
児童	2,828	27.8	2,583	24.2	2,600	24.5
一般	8,144	69.9	7,849	73.6	7,731	72.8
町外	211	2.3	232	2.2	293	2.8
児童	15	0.1	34	0.3	53	0.4
一般	196	2.2	198	1.9	240	2.3
合計	11,183	100.0	10,664	100.0	10,624	100.0

② 団体

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用数(件)	134	156	134

(6) 利用冊数

① 個人

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	貸出数(冊)	比率(%)	貸出数(冊)	比率(%)	貸出数(冊)	比率(%)
一般書	21,080	55.9	20,194	55.5	19,472	55.0
児童書	11,558	30.7	11,593	31.9	11,383	32.1
雑誌	4,418	11.7	3,900	10.7	3,917	11.1
CD・DVD	655	1.7	685	1.9	644	1.8
合計	37,711	100.0	36,372	100.0	35,416	100.0
町民1人あたり	5.2	—	5.1	—	5.1	—

② 団体

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	貸出数(冊)	比率(%)	貸出数(冊)	比率(%)	貸出数(冊)	比率(%)
一般書	252	5.7	307	17.8	139	11.2
児童書	1,153	93.9	1,398	80.9	1,099	88.3
雑誌	5	0.4	20	1.2	7	0.5
CD・DVD	0	0.0	2	0.1	0	0.0
合計	1,410	100.0	1,727	100.0	1,245	100.0

(7) リクエストの状況

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
件数(件)	322	299	318

(8) 相互貸借利用数

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	件数(件)	冊数(冊)	件数(件)	冊数(冊)	件数(件)	冊数(冊)
貸出	0	0	0	0	1	1
借受	58	529	112	526	100	379

## 社会体育

### 1. 各種スポーツ大会等の実施状況

#### 1) 地域対抗スポーツ大会

① 町民ソフトボール大会	9 チーム	181 人参加
② 地域対抗ペタング大会	27 チーム	110 人参加
③ 地域対抗カーリング大会	8 チーム	55 人参加
④ 地域対抗ミニバレー大会	13 チーム	69 人参加

#### 2) その他

① 子どもカーリング大会	小学生 14 名参加
--------------	------------

### 2. 社会体育施設の利用状況

1) 総合体育館	39,324 人	個人 6,364 人	団体 32,960 人
2) 高島地区町民プール	640 人	個人 330 人	団体 310 人
3) カーリング場	835 人	個人 0 人	大会等 835 人
4) 河川パークソフトボール場	130 件		
5) 池田小学校プール一般開放	利用者 1,172 人	開放日数	61 日間
6) まきばの家テニスコート	2,370 人	定期 2,258 人	個人利用等 112 人
7) 清見ヶ丘スケートリンク	大会参加者 83 人	町民・リンク納め大会	

### 3. 社会体育関係の補助金等交付状況

1) 池田町体育協会	540,000 円 (加盟団体数 16)
2) 池田町スポーツ少年団本部	443,000 円 (単位団数 10)
3) 池田町民スケート大会実行委員会	84,038 円 (2大会、3教室を開催)
4) 体育振興補助金	1,181,000 円 (全道全国大会出場に対する補助 14 件)

## ※関連規定等

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
- 池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況  
の点検、評価及び公表に関する実施方針
- 池田町教育委員会会議規則

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(昭和31年6月)

(法律第162号)

第一章 総則

(この法律の趣旨)

第一条 この法律は、教育委員会の設置、学校その他の教育機関の職員の身分取扱その他地方公共団体における教育行政の組織及び運営の基本を定めることを目的とする。

(基本理念)

第一条の二 地方公共団体における教育行政は、教育基本法(平成十八年法律第二百二十号)の趣旨にのつとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならない。

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## ○池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検、評価及び公表に関する実施方針

(平成21年1月9日 決定)

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号(以下「法」という。))第26条第1項の規定に基づく池田町教育委員会(以下「委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価(以下「事務の点検及び評価」という。)を行い、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、その実施に関する基本的事項を定めるものとする。

### 2 基本方針

事務の管理及び執行の状況の点検及び評価は、経済社会情勢の変化町民ニーズに適切かつ柔軟に対応し、限られた行財政資源の有効活用と施策の重点的な展開を図るために、事業内容の点検・検証を行い、課題や今後の改善方策を明らかにし、加えて、議会への報告や公表により、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために行うものである。

### 3 評価の対象

池田町第4次総合計画の施策の大綱(4)未来を拓くたくましい人と豊かな文化を育むまちづくりの基本目標に沿って実施する事業に係る推進状況を評価する。

### 4 評価の方法

各主管係が、評価の対象となる施策の体系ごとに、評価指標及びデータを示し、「現状と成果」、「今後の課題」、「今後の対応」を別紙様式により作成し、教育課長が教育行政の統一性を確保し、かつ、総合的な推進を図る観点から調整を行ったうえで、点検評価報告書をまとめるものとする。

### 5 外部意見の反映

点検評価報告書を作成後において、点検及び評価の客觀性を確保する観点から、教育長経験者、教育委員経験者、公立小中学校長経験者等から点検評価報告書(案)に対する意見を聴取することにより、教育に関し学識経験を有する者等の知見の活用に努め、点検評価報告書を作成するものとする。

### 6 評価結果の反映

評価の結果については、池田町第4次総合計画の実施計画の推進管理、施策展開、予算編成、組織機構の改正、事務事業の見直し等の改善など、教育行政の各分野に反映させるものとする。

## 7 教育委員会の活動状況

点検評価報告書には、上記の点検及び評価に加えて、評価対象年度の教育委員会の活動状況を掲載するものとする。

## 8 議会への報告及び公表

報告書を作成したときは、議会にこれを提出するとともに、次の方法により公表するものとする。

(1) 役場庁舎、支所、教育委員会事務局、図書館等での閲覧など。

## ○池田町教育委員会会議規則

昭和31年10月8日  
教育委員会規則第3号

### (趣旨)

第1条 教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）に規定するもののほか、この規則の定めるところによる。

### (会議の招集)

第2条 委員会の会議は、定例会及び臨時会とする。

2 定例会は、毎月1回これを開く。

3 臨時会は、教育長が必要と認めるとき、又は法第14条第2項の規定に基づいて2名以上の委員から書面で会議に付議すべき事件を示して会議の招集を請求されたときに招集する。

### (招集の方法等)

第3条 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付議すべき事件をあらかじめ各委員に通知して行う。

2 前項に規定する通知は、緊急やむを得ない場合を除き、会議招集の日前、3日前までにしなければならない。

### (委員の欠席の届出等)

第4条 委員は、招集の当日指定の時刻までに指定の場所に参集しなければならない。

2 委員は、招集に応ずることができないときは、事由を具して会議開催前までに、教育長に届け出なければならない。

### (開会等の宣告)

第5条 開会及び閉会は、教育長が行う。

### (開会の順序)

第6条 会議は、おおむね次の順序で行う。

(1) 開会

- (2) 前回会議録の承認
- (3) 教育長の報告
- (4) 議事
- (5) その他
- (6) 閉会

(動議の提出)

第7条 委員は、動議を提出することができる。

2 動議が提出されたときは、教育長は、会議にはかって、これを議題としなければならない。

(委員の発言等)

第8条 動議を出し又は討論しようとする者は、教育長の許可を得て発言しなければならない。

2 2人以上が発言を求めたときは、教育長は、先に発言を求めた者に発言させるものとする。

第9条 一議題の審議中は、他の議題について、発言することはできない。

(請願等の処理)

第10条 教育委員会に対して請願又は陳情をしようとする者は、教育長の許可する時間内において事情をのべることができる。

(採決)

第11条 教育長において論旨が尽されたと認めたときは、会議にはかって採決しなければならない。

第12条 教育長は、順次各委員の賛否の意見を求めて採決する。

2 教育長は、必要があると認めるときは、会議にはかって記名又は無記名の投票によって採決することができる。

第13条 修正の動議の採決は、原案に先立って行う。

2 修正の動議が数個あるときは、原案に最も遠いものから順次採決する。

3 すべての修正の動議が否決されたときは、原案について採決する。

(会議録作成の義務)

第14条 教育長は、会議の終了後、遅滞なく、その会議録を作成しなければならない。

(作成者の指名)

第15条 会議録は教育長が、事務局から職員を指名してこれを作成する。

2 会議録には、署名委員及びこれを調製した職員が署名しなければならない。

(会議録の内容)

第16条 会議録には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 開会及び閉会に関する事項
- (2) 出席した委員及び教育長の氏名
- (3) 委員及び教育長並びに傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名
- (4) 教育長等の報告の要旨

- (5) 議題及び議事の大要
- (6) 議題となった動議を提出した者の氏名
- (7) 質問又は、討論をした者の氏名及びその要旨
- (8) 議決事項
- (9) その他、教育長又は会議において必要と認めた事項

(異議等の処理)

第17条 会議録に記載した事項に関して、委員中に異議があるときは、教育長は、これを会議にはかって決定する。

(会議録の公表)

第18条 教育長は、会議録（法第14条第7項ただし書の規定により公開しないこととした会議に係る会議録を除く。）を作成したときは、事務局に備え置き、一般の閲覧に供するとともに、池田町教育委員会公告式規則（昭和27年教育委員会規則第3号）に規定する掲示場に掲示する方法等により、これを公表するものとする。

(補則)

第19条 この規則に定めるもののほか、教育委員会の会議について必要な事項は、教育長が会議にはかって定める。

附 則

- 1 この規則は、公布の日から施行する。
- 2 池田町教育委員会会議規則（昭和27年池田町教育委員会規則第1号）は廃止する。
- 3 池田町教育委員会傍聴規則（昭和27年池田町教育委員会規則第2号）は廃止する

附 則（昭和41年10月8日教委規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（昭和48年3月22日教委規則第1号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成2年6月20日教委規則第2号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成27年3月23日教委規則第3号）

(施行期日)

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この規則の施行の際現に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）附則第2条第1項の規定によりなお従前の例により在職するものとされる同法による改正前の地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第16条第1項の教育長の在職期間においては、この規則による改正後の池田町教育委員会会議規則の規定（第14条及び第18条を除く。）は適用せず、この規則による改正前の池田町教育委員会会議規則の規定（第17条を除く。）は、なおその効力を有する。

※ 点検及び評価において検討すべき課題

## 点検及び評価において検討すべき課題

平成 30 年度以降の「教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行についての点検及び評価」については、「第 4 次池田町教育基本計画」策定時の池田町議会文教厚生常任委員会における議論（平成 28 年 1 月 8 日所管事務調査）、並びに今年度の点検及び評価に係る外部有識者からの意見を踏まえ、次の事項を検討し実施する。

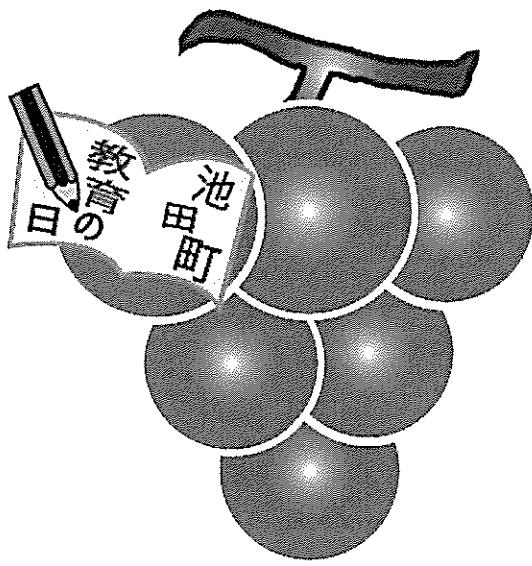
- これまでの「池田町総合計画」の基本目標に沿った教育委員会所管の実施事業に対する点検及び評価の実施を改め、池田町総合計画に基づき、具体的取組を示している「第 4 次池田町教育基本計画」に掲げる施策を点検及び評価の対象とすること。
- 点検及び評価については、目標達成に向けた成果指標（進捗度）を表した上で実施する観点から、「第 4 次池田町教育基本計画」に掲げる施策のうち、点検及び評価の対象とする施策、対象外とする施策を精査すること。

※ 外 部 意 見

## 池田町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の報告書に対する主な意見

- 「評価指標」について、池田町第4次総合計画に基づく目標の設定、目標を達成するための事業構築・実行。その後の目標への達成度を推し量る評価指標という観点から、その進捗度合を推し量る根拠として的確であるのか再考願いたい。  
例えば「支援教育の推進」において、学習生活支援員の配置数などは対象児童に由来すると推測されるため、むしろ長年の課題である保健福祉との連携、それに伴う人員配置や会議開催数などを記入してほしい。
- 「体験学習」について、放課後こども教室や通学合宿は成果にもあるとおり、目に見えた成果があり重要な事業と認識している。  
支援組織として、池田高校ボランティア部の活動は言うに及ばないが、単発でない支援する人の発掘・組織化また社会教育事業全般に関わるコーディネーターの養成が望まれる。
- 「郷土資料館」は、池田町第4次総合計画の基本目標をこれほど解りやすく形にした建物は無いと思う。利活用促進のための広報活動や学校授業との連携、郷土資料を熟知する各分野の達人への学習支援ボランティアの要請・組織化など取り組む事項は多くあり、今後の評価指標として、それらの充足度を列挙されることを期待したいと思う。
- コミュニティ・スクール導入にあたり、学校支援地域本部との兼ね合いがどうになるのか懸念している。  
何よりも新しい事業を担っていく人たちは、既存の組織の人ではなく、新しい感覚をもつ新しい人たちを発掘し育ててほしい。町民が子どもを育む当事者としての意識をもつためには、広く町民の地域住民をバランスよく取り組むことが大切と思う。
- 教職員の労働時間が長時間に及んでいることは指摘されているが、健康診断が適切に行われていることは称賛したい。
- 町採用職員（臨時教員など）に対する研修を充実してほしい。
- コミュニティ・スクール導入に向け、学校・地域・家庭がともに力を合わせて、より良い社会づくりをするため、子どもたちの生活基盤である家庭での保護者の望ましい子育てや、家庭学習・生活習慣について学習する場所と機会を設けてほしい。

例として、各校保護者を対象に、教職員が講師となり、学習・身近な生活などの問題解決に向けての学習機会の提供や、学校運営などと身近な情報収集。学習や生活の相談事業を行う、「家庭教育学級の開設」。



「池田町教育の日」  
普及啓発シンボルマーク  
(平成 25 年度制定)